

東芝デジタル複合機

困ったときは

e-STUDIO2020AC

e-STUDIO2525AC/3525AC/4525AC/5525AC

e-STUDIO2528A/3528A/4528A/5528A

© 2021 Toshiba Tec Corporation All rights reserved

本書は、著作権法により保護されており、東芝テック株式会社の承諾がない場合、本書のいかなる部分もその複製、複製を禁じます。




はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この取扱説明書は、本機をご使用中にトラブルと思われることが生じた場合の原因および対処方法について説明しています。本機を最良の状態でお使いいただくために、この取扱説明書をいつもお手元に置いて有効にご活用ください。

■ 本書の読みかた

本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

 警告	「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷*1を負う可能性があること」を示しています。
 注意	「誤った取り扱いをすると人が傷害*2を負う可能性、または物的損害*3のみが発生する可能性があること」を示しています。
注意	操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。
補足	操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。
	関連事項を説明している参照先を示しています。必要に応じて参照してください。

*1 重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

*2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を指します。

*3 物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害を指します。

本書の対象読者について

本書は一般使用者および機器管理者向けの取扱説明書です。

本書の対象機種について

本書の対象機種は、本文中で以下のように表記しています。

対象機種	本文中の表記
e-STUDIO2020AC	e-STUDIO5525AC Series
e-STUDIO2525AC/3525AC/4525AC/5525AC	
e-STUDIO2528A/3528A/4528A/5528A	e-STUDIO5528A Series

オプション機器について

使用可能なオプション機器については、以下の参照先をご覧ください。

機体の情報 - 機体の情報 - 本機のオプション

本文中の画面と操作手順の説明について

お使いの機種やオプション機器の装着状況、OSのバージョンやアプリケーションによっては、表示される画面が異なることがあります。

本文中の記載名称について

本書では、両面同時原稿送り装置と自動両面原稿送り装置に共通の内容については、どちらも自動原稿送り装置と記述して説明しています。

商標について

商標については安全にお使いいただくためにをご覧ください。

目次

はじめに.....	3
本書の読みかた	3
第1章 機体に関するトラブル	
こんな画面が表示されたら	9
紙づまりの解除.....	14
紙がつまっている場所を画面で確認する	14
紙づまりを解除する.....	15
自動原稿送り装置	17
外付け大容量給紙装置（2000枚）.....	22
カセット給紙部.....	24
大容量給紙装置.....	25
多段給紙装置	26
カセット（e-STUDIO2020AC）.....	27
カセット（e-STUDIO2020AC以外）.....	28
封筒カセット	29
大容量カセット.....	29
手差しトレイ（e-STUDIO2020AC、e-STUDIO2528A/3528A/4528A）.....	30
手差しトレイ（e-STUDIO2020AC、e-STUDIO2528A/3528A/4528A以外）.....	31
自動両面ユニット	31
用紙搬送路.....	32
定着器.....	33
インナートレイ.....	36
中継ユニット	37
フィニッシャーとホールパンチユニット	37
サドルステッチフィニッシャーとホールパンチユニット	43
サドルステッチフィニッシャーのサドルステッチユニット	47
インナーフィニッシャーとホールパンチユニット.....	54
用紙サイズの設定間違いによる紙づまりの解除	57
ステイプラーの針づまりの解除.....	64
フィニッシャーのステイプラー.....	64
サドルステッチユニットのステイプラー	69
トナーカートリッジの交換.....	71
カラー機	71
モノクロ機.....	74
廃トナーボックスの交換	79
ステイプラーの針の補充	82
フィニッシャーのステイプラー.....	82
サドルステッチユニットのステイプラー	86
機器内部のクリーニング	89
帯電チャージャーとLEDプリントヘッド（e-STUDIO2020AC）.....	89
帯電チャージャーとスリットガラス（e-STUDIO2525AC/3525AC/4525AC/5525ACおよびe-STUDIO5528A）.....	92
帯電チャージャー（e-STUDIO2528A/3528A/4528A）.....	96
パンチ屑ケースの清掃.....	98
フィニッシャー／サドルステッチフィニッシャーのホールパンチユニット	98
インナーフィニッシャーのホールパンチユニット	98
本体排紙トレイから用紙があふれるときは.....	101
用紙が丸まってしまうときは	103

第2章 日常のお手入れ

日常のお手入れ.....	106
保守サービスについて.....	107
索引.....	109

機体に関するトラブル

こんな画面が表示されたら	9
紙づまりの解除	14
紙がつまっている場所を画面で確認する	14
紙づまりを解除する.....	15
自動原稿送り装置	17
外付け大容量給紙装置（2000枚）.....	22
カセット給紙部.....	24
大容量給紙装置.....	25
多段給紙装置	26
カセット（e-STUDIO2020AC）.....	27
カセット（e-STUDIO2020AC以外）.....	28
封筒カセット	29
大容量カセット.....	29
手差しトレイ（e-STUDIO2020AC、e-STUDIO2528A/3528A/4528A）.....	30
手差しトレイ（e-STUDIO2020AC、e-STUDIO2528A/3528A/4528A以外）.....	31
自動両面ユニット	31
用紙搬送路.....	32
定着器	33
インナートレイ.....	36
中継ユニット	37
フィニッシャーとホールパンチユニット	37
サドルステッチフィニッシャーとホールパンチユニット.....	43
サドルステッチフィニッシャーのサドルステッチユニット	47
インナーフィニッシャーとホールパンチユニット.....	54
用紙サイズの設定間違いによる紙づまりの解除	57
ステイプラーの針づまりの解除	64
フィニッシャーのステイプラー.....	64
サドルステッチユニットのステイプラー	69
トナーカートリッジの交換	71
カラー機	71
モノクロ機.....	74
廃トナーボックスの交換	79
ステイプラーの針の補充	82
フィニッシャーのステイプラー.....	82
サドルステッチユニットのステイプラー	86


機器内部のクリーニング	89
帯電チャージャーとLEDプリントヘッド (e-STUDIO2020AC)	89
帯電チャージャーとスリットガラス (e-STUDIO2525AC/3525AC/4525AC/5525ACおよびe-STUDIO5528A)	92
帯電チャージャー (e-STUDIO2528A/3528A/4528A)	96
パンチ屑ケースの清掃	98
フィニッシャー／サドルステッチフィニッシャーのホールパンチユニット	98
インナーフィニッシャーのホールパンチユニット	98
本体排紙トレイから用紙があふれるときは	101
用紙が丸まってしまうときは	103



こんな画面が表示されたら


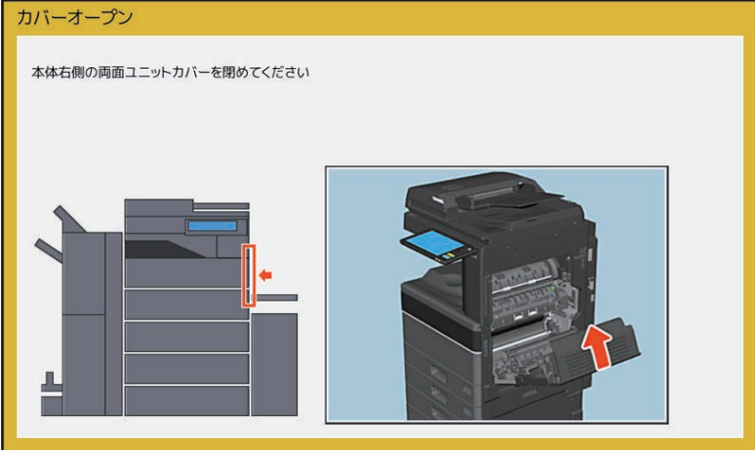
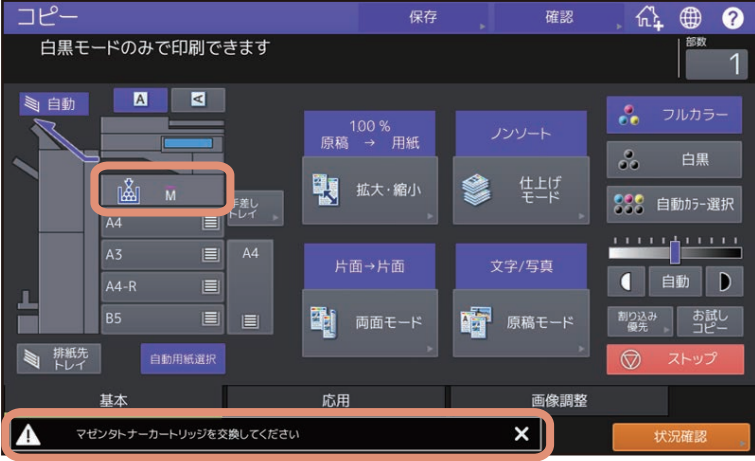
本機のタッチパネルには、本機の状態に応じてさまざまな画面が表示されます。ここでは、代表的な不具合の画面表示例と対処のしかたについて説明します。

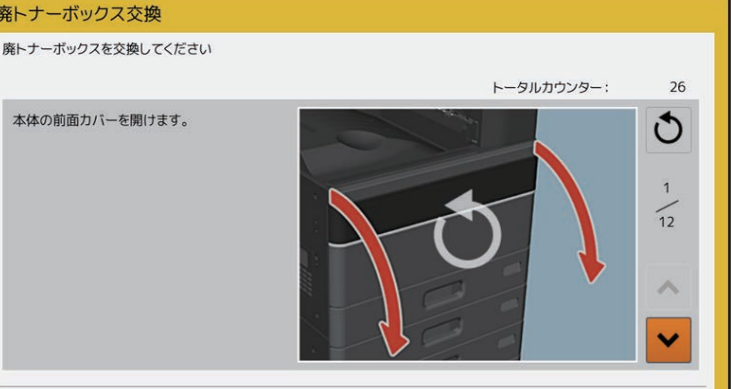
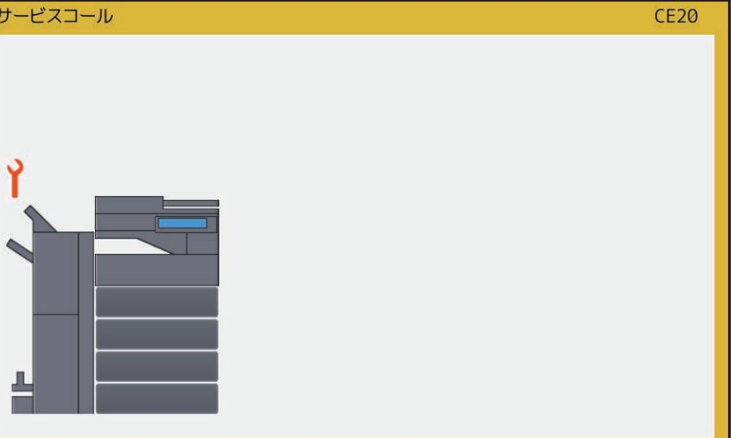
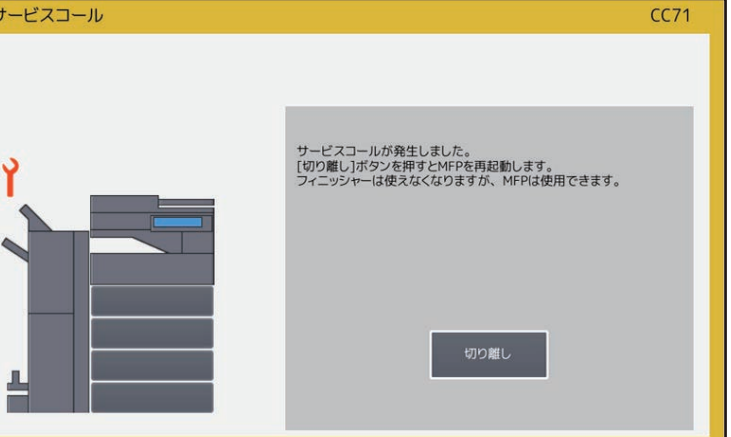
1

機体に関するトラブル

画面表示	意味/対処
	<p>画面上部のメッセージ表示エリアに、不具合の発生などをお知らせするメッセージが表示されることがあります。代表的なメッセージについては、以下の参照先をご覧ください。</p> <p>よくあるご質問 - エラーメッセージについてのご質問 - エラーメッセージについてのご質問</p>

画面表示	意味/対処
 <p>The screenshot shows the copier's control panel with various settings. A red box highlights a warning icon (a yellow triangle with a black exclamation mark) next to the paper size selection area, which is currently set to A4. The warning icon indicates that the paper size is not correctly detected or is incompatible with the selected settings.</p>	<p>セットした用紙のサイズとは異なるサイズが表示されている場合や「」と表示されている場合は、用紙サイズが正しく検知されていません。この場合は以下の点を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • カセットにセットできないサイズの用紙をセットしていないか。カセットにセットできる用紙のサイズについては、以下の参照先をご覧ください。 <p>本機の仕様 - 用紙の仕様 - 使用できる用紙の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> • 非定形の用紙をセットしていないか。 [ユーザー設定サイズ] を押し、用紙サイズを手動で設定してください。 • カセット内の用紙と、サイドガイドや後端ガイドとの間が空きすぎているか。 用紙、サイドガイド、後端ガイドを正しい位置にセットしなおしてください。 • AB系列の用紙をセットしたのに [自動 (inch)] を選んでいないか。LT系列の用紙をセットしたのに、[自動 (mm)] を選んでいないか。 セットした用紙の系列に合ったボタンを押してから、用紙をセットしなおしてください。 定形サイズの用紙をセットしたのに異なるサイズが表示されている場合は、手動で用紙サイズを設定してください。手動でサイズを設定するには管理者による設定の変更が必要です。詳しくは、以下の参照先をご覧ください。 <p>設定/登録 - 設定項目 (管理者設定) - カセット</p>

画面表示	意味/対処
<p>紙づまり発生 E030</p> <p>機械内部で紙づまりです</p> <p>トータルカウンター: 42</p> <p>本体右側の自動両面ユニットを開けます。</p> 	<p>原稿や用紙がつまっています。画面のガイダンスを見ながら、つまっている紙を取り除いてください。 P.14 「紙づまりの解除」</p>
<p>カバーオープン</p> <p>本体右側の両面ユニットカバーを開けてください</p> 	<p>本機のカバーが開いています。画面に示されているカバーを確実に閉めてください。</p>
<p>コピー 保存 確認</p> <p>白黒モードのみで印刷できます</p> <p>部数 1</p> 	<p>トナーカートリッジ内のトナーがなくなりました。新しいトナーカートリッジに交換してください。 P.71 「トナーカートリッジの交換」</p>

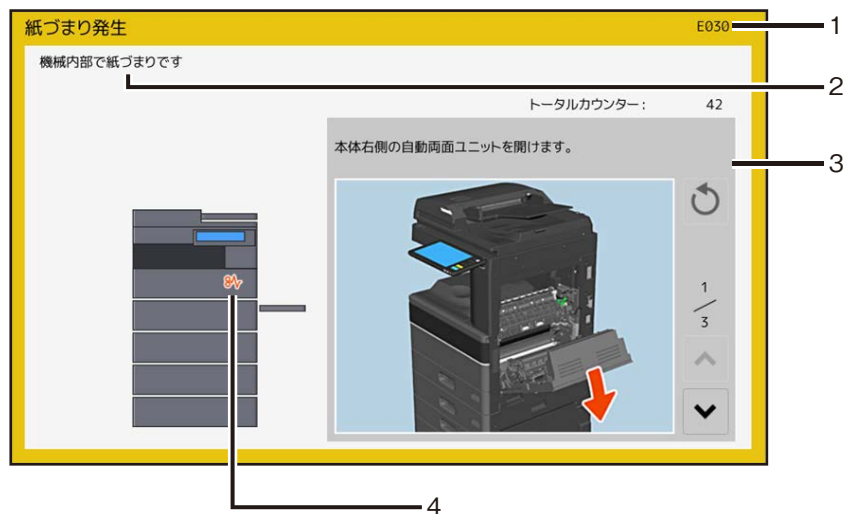
画面表示	意味/対処
<p>廃トナーボックス交換</p> <p>廃トナーボックスを交換してください</p> <p>トータルカウンター: 26</p> <p>本体の前面カバーを開けます。</p> 	<p>廃トナーボックスがいっぱいです。画面のガイダンスを見ながら、新しい廃トナーボックスに交換してください。</p> <p>📖 P.79 「廃トナーボックスの交換」</p>
<p>サービスコール CE20</p> 	<p>サービスエンジニアによる調整が必要です。サービスエンジニアまたは弊社販売店にご連絡ください。</p> <p>その際、画面右上に表示されるエラーコード (C****) を担当者にお知らせください。</p> <p>不具合の発生した場所によっては、[切り離し] ボタンが表示される場合があります。[切り離し] ボタンを押すと、切り離れた機能を除いて複合機を使用できます。切り離れた状態を解除するには、サービスエンジニアによる調整が必要です。</p>
<p>サービスコール CC71</p> 	<p>⚠ 警告</p> <p>分解・改造・修理はしないこと</p> <p>感電・火災・けがの原因となります。動作不良・故障時はサービスエンジニアまたは弊社販売店へご連絡ください。</p>

画面表示	意味/対処
	<p>マークが表示されているオプションの機能は、使用できません。オプションを切り離れた状態を解除するには、サービスエンジニアによる調整が必要です。</p>
	<p>原稿が二重送りされました。つまっている紙を取り除き、原稿の状態を確認してから、自動原稿送り装置に原稿をセットしなおしてください。つまった用紙の取り除きかたは、以下の参照先をご覧ください。 ☞ P.17 「自動原稿送り装置」 原稿のセットのしかたについては、以下の参照先をご覧ください。 用紙の準備 - 原稿をセットする - 原稿をセットする - 自動原稿送り装置に原稿をセットする</p>

紙づまりの解除

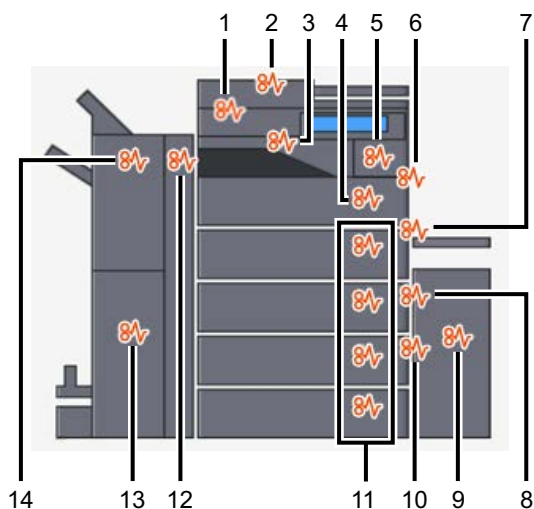
■ 紙がつまっている場所を画面で確認する

原稿や用紙がつまるとコピー動作が停止します。タッチパネルに以下のように表示されます。



1. エラーコード
2. エラーメッセージ
3. 紙づまり解除ガイダンス
4. 紙づまりマーク

紙づまりマークの位置で、紙がつまっている場所が分かります。



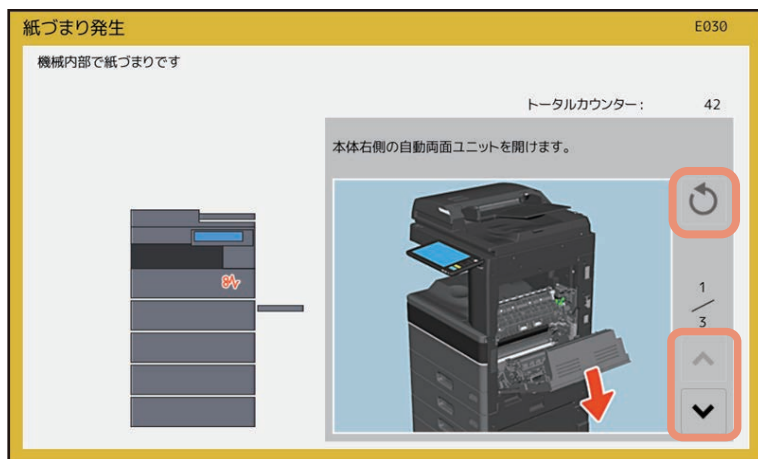
1. 原稿送り装置（下部）（[P.17](#)）
2. 原稿送り装置（上部）（[P.17](#)）
3. インナートレイ、オフセットインナートレイ（[P.36](#)）、または中継ユニット（[P.37](#)）
4. 用紙搬送路（[P.32](#)）
5. 定着器（[P.33](#)）
6. 自動両面ユニット（[P.31](#)）
7. 手差しトレイ（[P.30](#)）
8. カセット給紙部（[P.24](#)）
9. 外付け大容量給紙装置（2000枚）（[P.22](#)）
10. 大容量給紙装置（[P.25](#)）または多段給紙装置（[P.26](#)）
11. カセット（[P.27](#)、[P.28](#)）、封筒カセット（[P.29](#)）、または大容量カセット（[P.29](#)）
12. ホールパンチユニット（[P.37](#)、[P.43](#)、[P.54](#)）
13. サドルステッチ部（[P.47](#)）
14. フィニッシャー（[P.37](#)、[P.43](#)、[P.54](#)）

表示される機体の絵は、装着しているオプションによって異なります。

■ 紙づまりを解除する

1 紙づまりを解除します。

画面に表示されるガイダンスに従って紙づまりを解除してください。▲ または ▼ を押してガイダンスを前後にたどることができます。🔄 を押すと、アニメーションをもう一度はじめから再生できます。



2 紙づまりを解除したら、開いているカバーをすべて閉めます。

ウォームアップが始まります。画面の指示に従って操作してください。

□ 紙を取り除くときのご注意

つまった紙を取り除くときは以下の点に注意してください。

紙が破れないように注意してください

つまった紙が破れないように、両手でゆっくり取り除いてください。無理に取り除こうとすると、紙が破れて取り除きにくくなります。また、紙が破れたときは破れた紙を本機内に残さないでください。

つまっている紙を取り除いても紙づまりマークが消えないときは

紙づまりが発生したタイミングによっては、紙づまりマークで表示された場所に紙がないこともあります。つまっている紙を取り除いても紙づまりマークが消えない場合は、ガイダンスに従ってすべての操作を行ってください。

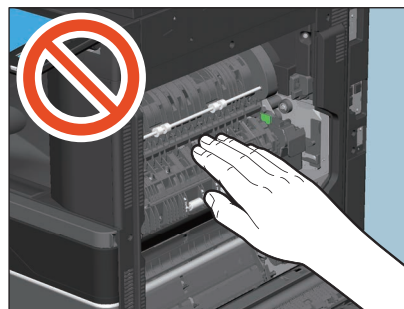
機器内部のコネクターおよびハーネスに触れないように注意してください

故障の原因となります。

定着器およびその付近の金属部に触れないように注意してください

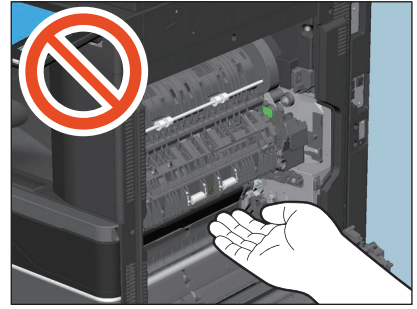
⚠ 注意

機体右側の内部でつまった紙を取り除くときは、定着器およびその付近の金属部に触れないように注意してください。やけどや、触れたショックで手を機器内部に当ててけがをする原因となります。



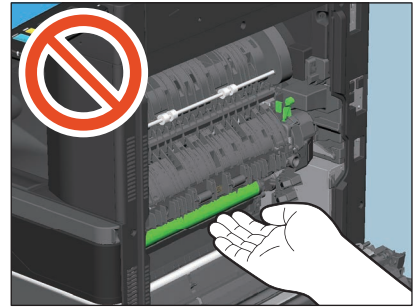
(e-STUDIO5525AC Series、e-STUDIO5528A) 転写ベルトに触れないように注意してください

機体右側の内部でつまった用紙を取り除くときは、転写ベルトに触れないように注意してください。画像が汚れる原因となります。



(e-STUDIO2528A/3528A/4528A) 感光ドラムに触れないように注意してください

機体右側の内部でつまった用紙を取り除くときは、感光ドラムに触れないように注意してください。画像が汚れる原因となります。



□ 紙づまりがひんぱんに起こるときは

紙づまりが起こる原因には、主に以下のものが考えられます。紙づまりがひんぱんに起こるときは、再度確認してください。

- 原稿送り装置にセットできない原稿をセットしている。
- 本機で使用できない用紙を使用している。
- カセットや手差しトレイにセットした用紙のサイズが、本機に正しく登録されていない。
- 紙づまりが生じたときに、つまっているすべての紙を取り除いていない。
- 給紙カセット内の用紙と、サイドガイドや後端ガイドとの間が空きすぎている。
- 給紙カセット内のサイドガイドの内側にある上限表示より多く用紙をセットしている。

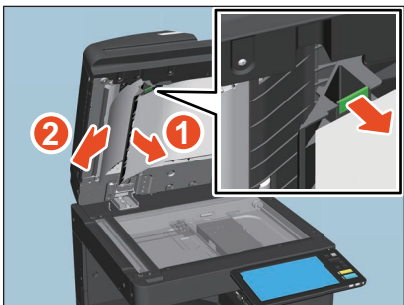
■ 自動原稿送り装置

□ 自動両面原稿送り装置下部

- 1 自動両面原稿送り装置上の原稿を取り除き、自動両面原稿送り装置を開きます。



- 2 緑色のレバーを下げて反転カバーを開け、原稿を取り除きます。

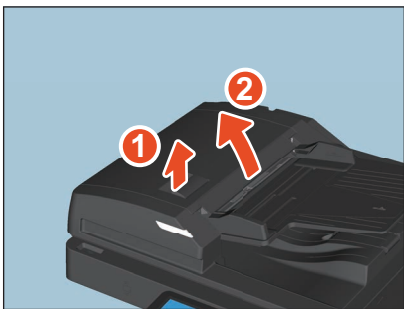


- 3 自動両面原稿送り装置を閉めます。

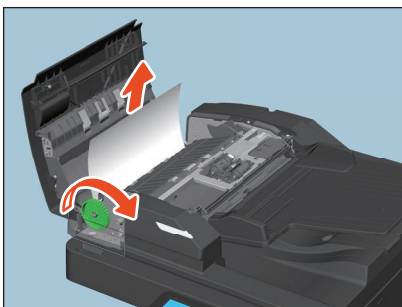


□ 自動両面原稿送り装置上部

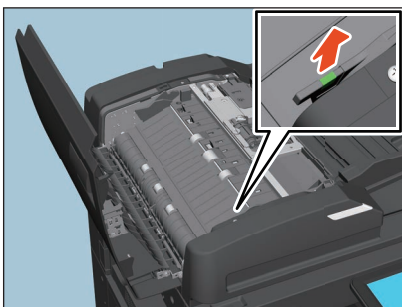
- 1 レバーを上げ、上カバーを開けます。



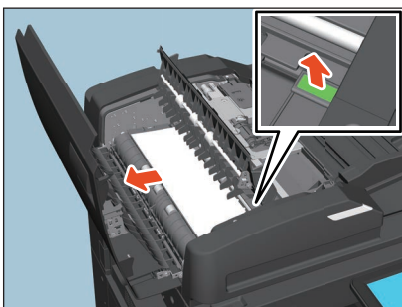
- 2 内側にある緑色のダイヤルを回して原稿を取り除きます。



- 3 緑色のレバーを上げて搬送ガイドを開きます。

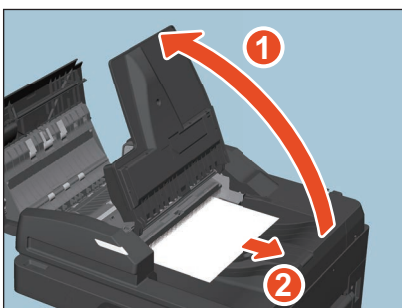


- 4 搬送ガイドの下の緑色のレバーを上げ、ガイド板の下にある原稿を取り除きます。



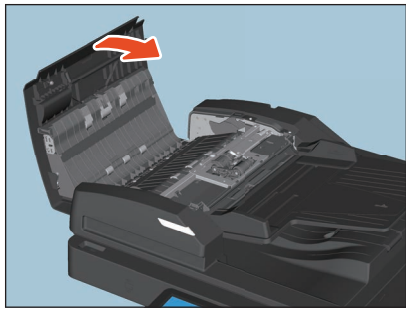
- 5 搬送ガイドを閉めます。

- 6 原稿給紙トレイを上げ、下にある原稿を取り除きます。



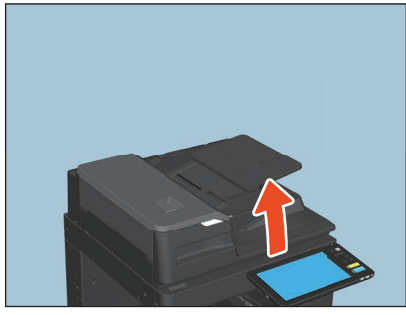
- 7 原稿給紙トレイを下ろします。

8 上カバーを閉めます。

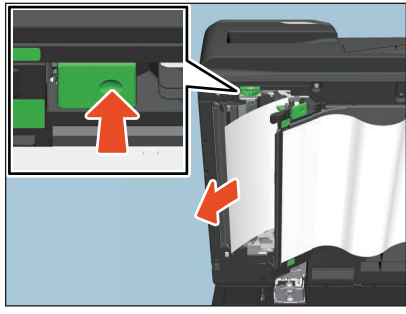


□ 両面同時原稿送り装置下部

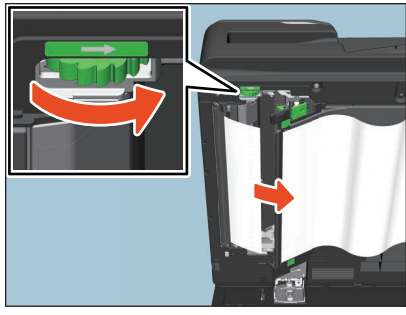
1 両面同時原稿送り装置の原稿を取り除き、両面同時原稿送り装置を開きます。



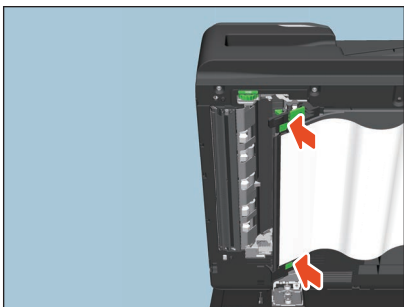
2 緑色のボタンを押して下カバーを開け、原稿を取り除きます。



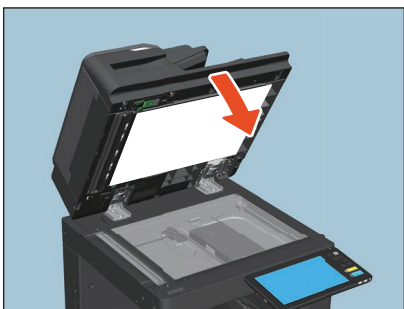
3 緑色のダイヤルを回して原稿を取り除きます。



- 4 緑色の部分を押し、下カバーを閉じます。

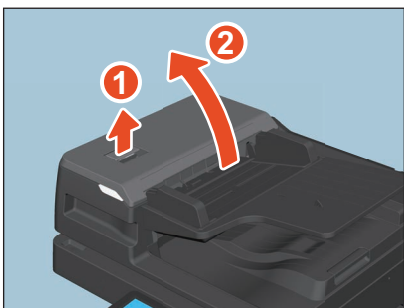


- 5 両面同時原稿送り装置を閉めます。

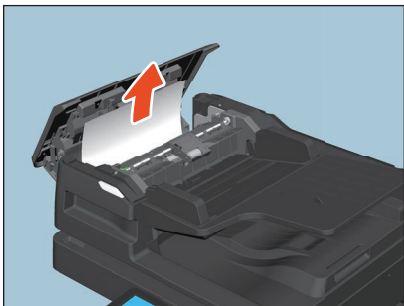


両面同時原稿送り装置上部

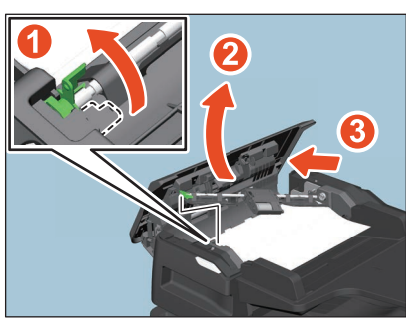
- 1 レバーを上げ、上カバーを開けます。



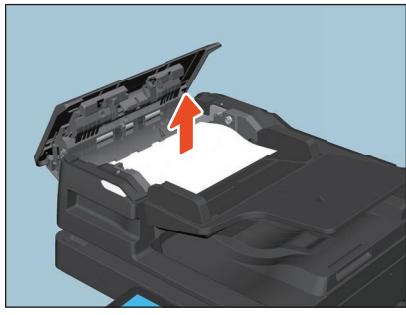
- 2 原稿を取り除きます。



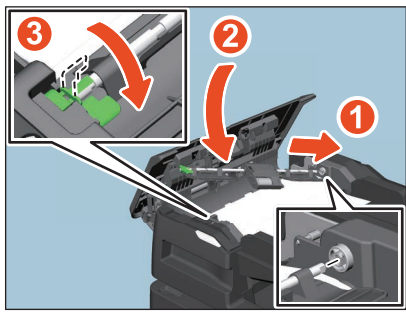
3 給紙ローラーユニットの下にある原稿を取り除きにくい場合は、給紙ローラーユニットを取り外します。



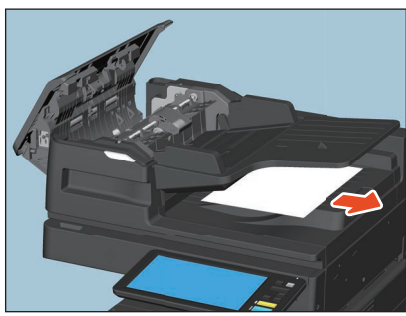
4 給紙ローラーユニットの下にある原稿を取り除きます。



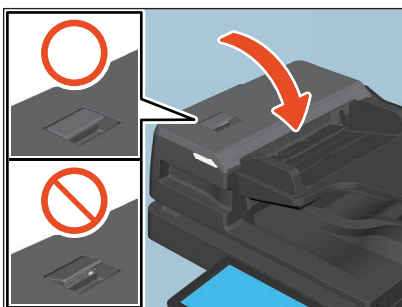
5 給紙ローラーユニットを取り付けます。



6 原稿給紙トレイの下にある原稿を取り除きます。



7 上カバーを閉めます。



注意

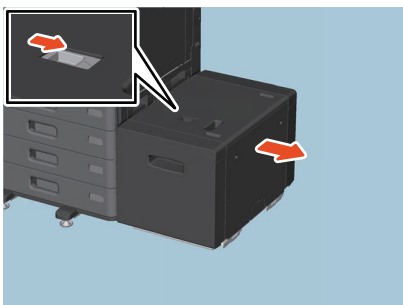
上カバーのレバーが確実に閉まっていることを確認してください。

■ 外付け大容量給紙装置（2000枚）

⚠ 注意

機体と外付け大容量給紙装置の間に指を挟み込まないように注意すること
けがの原因となります。

1 外付け大容量給紙装置のレバーを操作し、本体から離します。



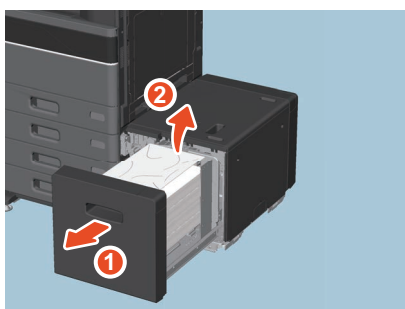
2 緑色のダイヤルを回して、つまっている用紙を取り除きます。



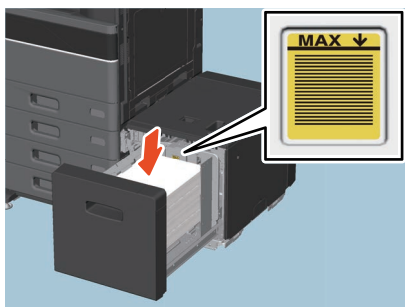
- 3 本体側につまっている用紙を取り除きます。



- 4 給紙トレイを引き出し、つまっている用紙を取り除きます。



- 5 用紙を入れすぎていること、折れ・曲がりがないことを確認してから、給紙トレイを閉めます。

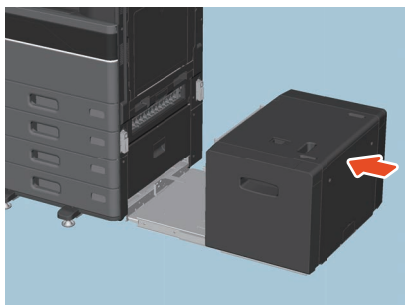


注意

用紙の量は、リア側のガイド板にある上限表示を超えないようにしてください。

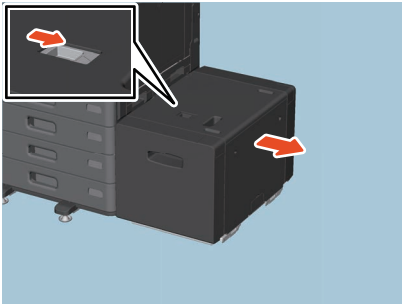
- 6 外付け大容量給紙装置を本体に接続します。

手を図の位置に置き、静かに動かしてください。



■ カセット給紙部

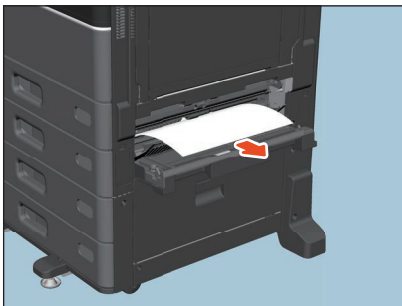
- 1 外付け大容量給紙装置を装着している場合は、外付け大容量給紙装置のレバーを操作し、本体から離します。



- 2 本体右側の給紙カバーを開けます。



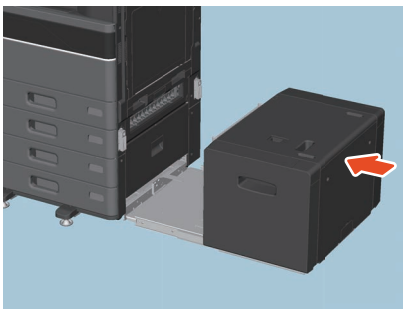
- 3 カセットから出ている用紙を取り除き、給紙カバーを閉めます。



用紙がカバー側につまっているときは、下図のように取り除きます。

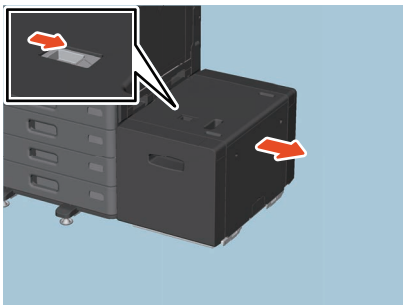


- 4** 外付け大容量給紙装置を装着している場合は、本体に接続します。
 手を図の位置に置き、静かに動かしてください。

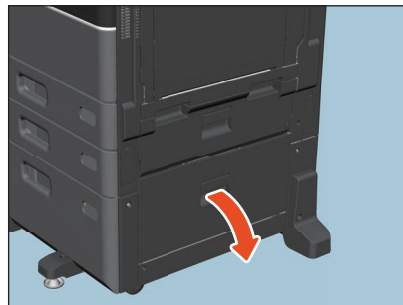


■ 大容量給紙装置

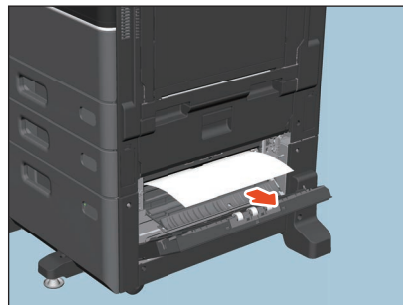
- 1** 外付け大容量給紙装置を装着している場合は、外付け大容量給紙装置のレバーを操作し、本体から離します。



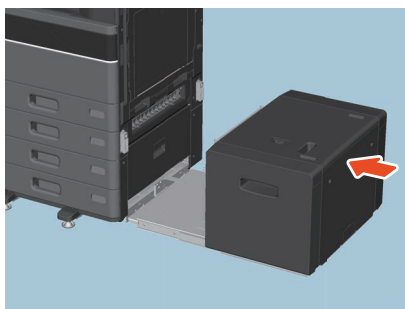
- 2** 大容量給紙装置の右側の給紙カバーを開けます。



- 3** つまっている用紙を取り除き、給紙カバーを閉めます。

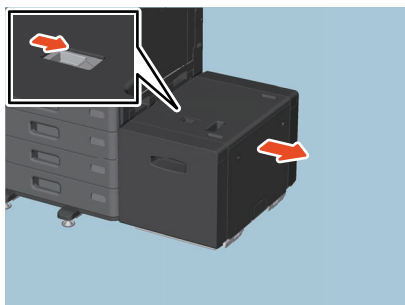


- 4** 外付け大容量給紙装置を装着している場合は、本体に接続します。
手を図の位置に置き、静かに動かしてください。

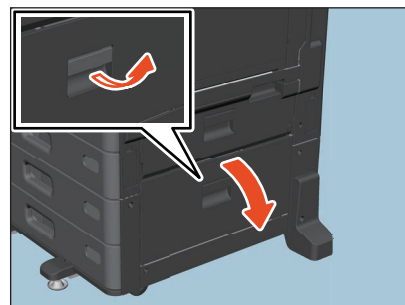


■ 多段給紙装置

- 1** 外付け大容量給紙装置を装着している場合は、外付け大容量給紙装置のレバーを操作し、本体から離します。



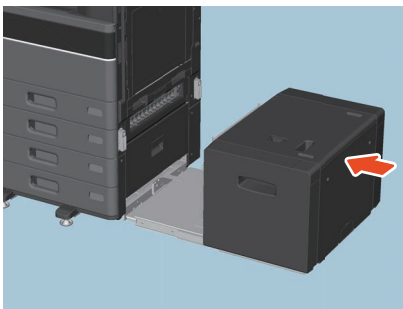
- 2** 多段給紙装置の右側の給紙カバーを開けます。



- 3** つまっている用紙を取り除き、給紙カバーを閉めます。



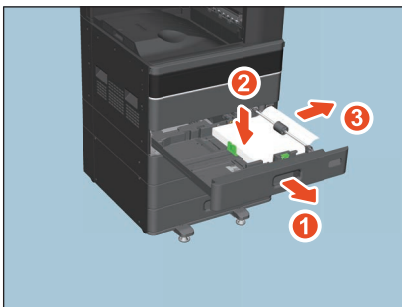
- 4 外付け大容量給紙装置を装着している場合は、本体に接続します。
手を図の位置に置き、静かに動かしてください。



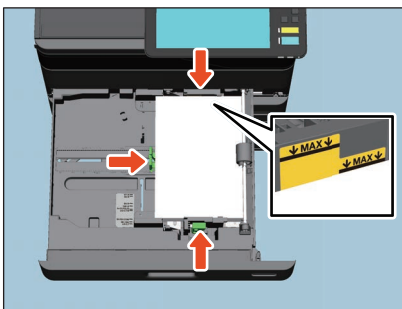
■ カセット (e-STUDIO2020AC)

□ 1段目カセット

- 1 カセットを開けて、カチッと音がするまで用紙を押し下げてから、つまっている用紙を取り除きます。



- 2 用紙を入れすぎていないこと（特に厚紙の場合）、折れ・曲がりがないこと、ガイド幅が適切なことを確認してから、カセットを閉めます。

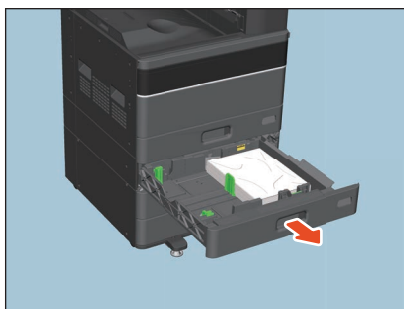


注意

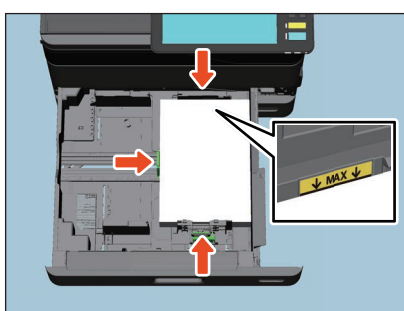
用紙の量は、サイドガイドの内側にある上限表示を超えないようにしてください。特に、1段目のカセットに厚紙をセットするときは、セットできる用紙の量が普通紙よりも少ないので、厚紙用の上限表示を超えないように注意してください。

□ 2～4段目カセット

- 1 給紙したカセットを開けて、つまっている用紙を取り除きます。

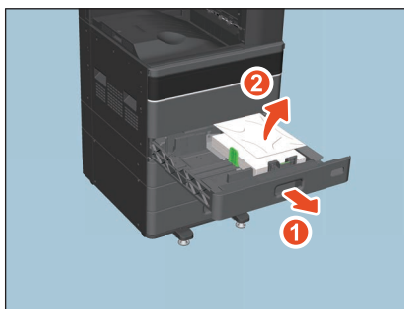


- 2 用紙を入れすぎていないこと、折れ・曲がりがないこと、ガイド幅が適切なことを確認してから、カセットを閉めます。

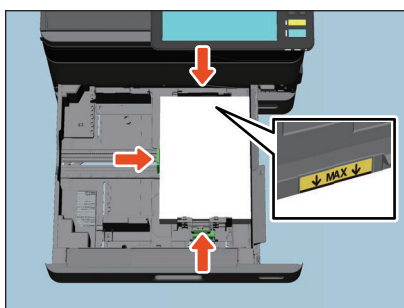


■ カセット (e-STUDIO2020AC以外)

- 1 給紙したカセットを開けて、つまっている用紙を取り除きます。



- 2 用紙を入れすぎていないこと、折れ・曲がりがないこと、ガイド幅が適切なことを確認してから、カセットを閉めます。

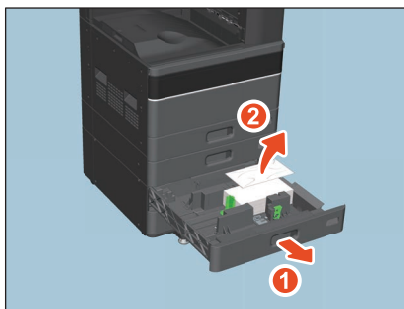


注意

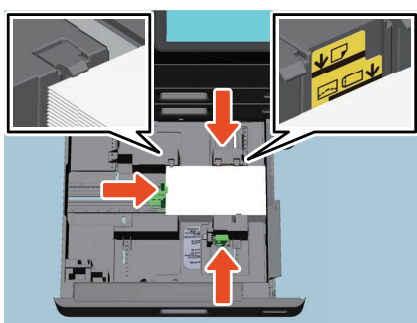
用紙の量は、サイドガイドの内側にある上限表示を超えないようにしてください。

■ 封筒カセット

- 1 給紙したカセットを開けて、つまっている用紙を取り除きます。



- 2 用紙を入れすぎていないこと、折れ・曲がりがないこと、ガイド幅が適切なことを確認してから、カセットを閉めます。

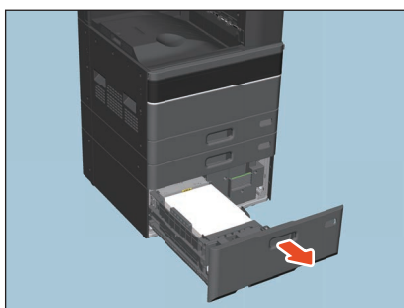


注意

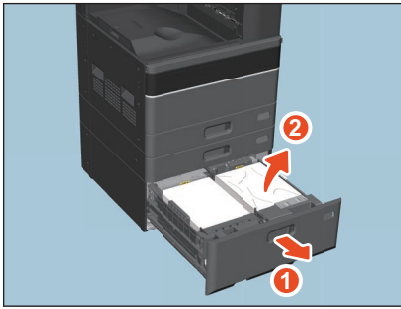
用紙の量は、サイドガイドの内側にある上限表示を超えないようにしてください。特に、封筒カセットに封筒をセットするときは、セットできる用紙の量が普通紙よりも少ないので、封筒用の上限表示を超えないように注意してください。

■ 大容量カセット

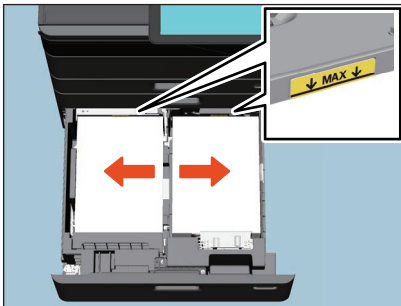
- 1 大容量カセットを開けます。



- 2 右側のカセットを開け、つまっている用紙を取り除きます。



- 3 用紙を入れすぎていないこと、折れ・曲がりがないことを確認してから、大容量カセットを閉めます。

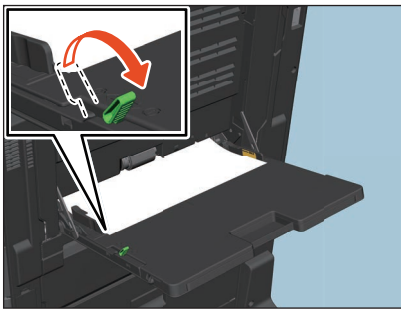


注意

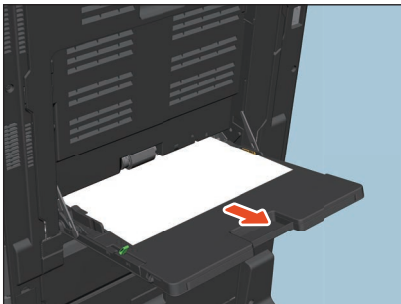
用紙の量は、サイドガイドの内側にある上限表示を超えないようにしてください。

■ **手差しトレイ (e-STUDIO2020AC、e-STUDIO2528A/3528A/4528A)**

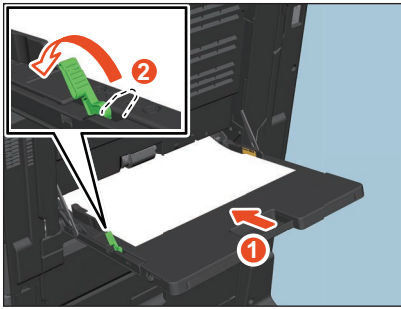
- 1 緑色の用紙押さえレバーを外側に倒します。
用紙を取り除ける状態になります。



- 2 手差しトレイ上の用紙を引き抜きます。

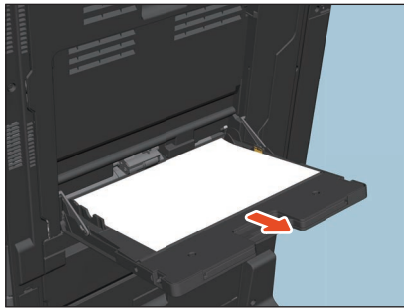


- 3 手差しトレイに用紙を置きなおし、緑色の用紙押さえレバーを内側に倒します。
用紙に汚れ・折れ・破れなどがある場合は、新しい用紙と交換してください。



■ 手差しトレイ (e-STUDIO2020AC、e-STUDIO2528A/3528A/4528A以外)

- 1 手差しトレイ上の用紙を引き抜きます。



■ 自動両面ユニット

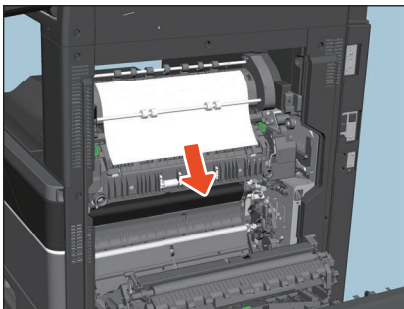
⚠ 注意

機体と自動両面ユニットカバーの間に指を挟み込まないように注意すること
けがの原因となります。

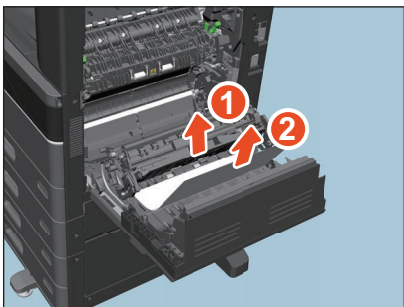
- 1 本体右側の自動両面ユニットカバーを開けます。



-
- 2 (e-STUDIO2020AC、e-STUDIO2528A以外) つまっている用紙を取り除きます。



- 3 緑色のレバーを持ち上げながら、つまっている用紙を取り除きます。



- 4 緑色のレバーを静かに下ろしてから、自動両面ユニットカバーを閉めます。

■ 用紙搬送路

⚠ 注意

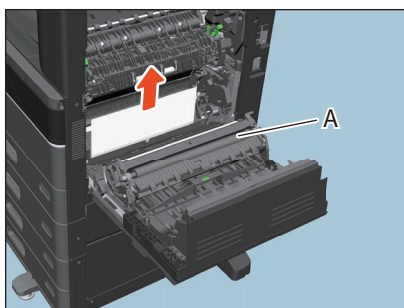
機体と自動両面ユニットカバーの間に指を挟み込まないように注意すること
けがの原因となります。

- 1 本体右側の自動両面ユニットカバーを開けます。

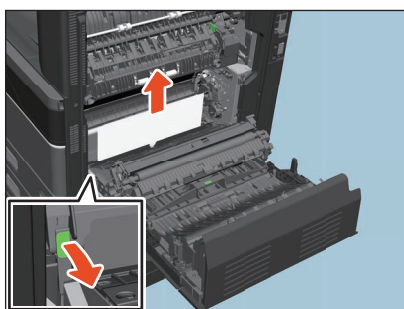


2 つまっている用紙を取り除きます。

e-STUDIO2020AC Series



e-STUDIO2020AC以外



注意

- 用紙を取り除くときに、転写ベルトや感光ドラムに触れないように注意してください。画像が汚れる原因となります。
- [A] のローラーに汚れが付着している場合がありますが、次の印刷時に自動的にクリーニングされますので、清掃などは行わないでください。

3 自動両面ユニットカバーを閉めます。

■ 定着器

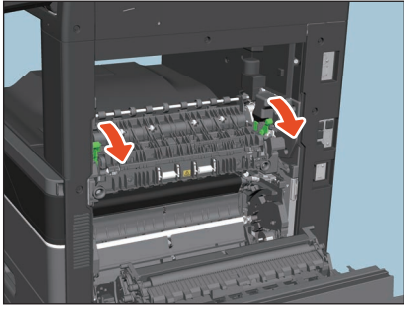
⚠ 注意

- 機体と自動両面ユニットカバーの間に指を挟み込まないように注意すること
けがの原因となります。
- 定着器およびその付近の金属部には触れないこと
やけどや、触れたショックで手を機器内部に当て、けがの原因となります。

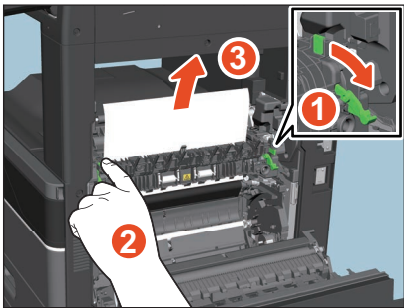
1 本体右側の自動両面ユニットカバーを開けます。



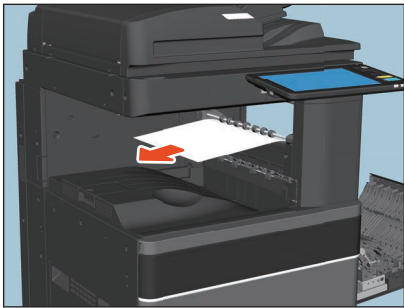
- 2** (e-STUDIO2020AC、およびe-STUDIO2528A/3528A/4528Aのみ) 緑色の定着器加圧解除レバー 2か所を、止まるまで押し下げます。



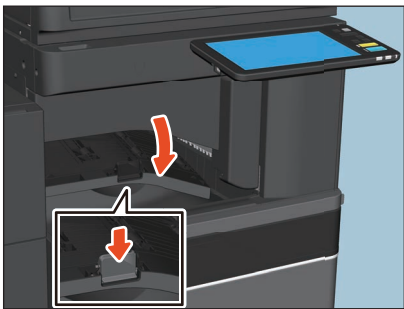
- 3** 緑色のつまみを持って搬送ガイドを開け、つまっている用紙を取り除きます。つまっている場所に応じて上または下から引き抜きます。



- 4** 排紙部から用紙を取り除きます。



- 5** フィニッシャーを装着している場合は、取っ手をつまみながら、中継ユニットカバーを開けます。



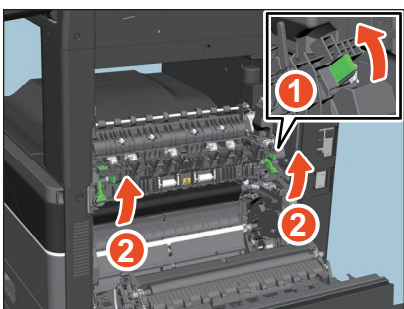
6 つまっている用紙を取り除きます。



7 フィニッシャーを装着している場合は、中継ユニットカバーを閉めます。



8 (e-STUDIO2020AC、およびe-STUDIO2528A/3528A/4528Aのみ) 緑色の定着器加圧解除レバー 2か所を戻します。



9 自動両面ユニットカバーを閉めます。

■ インナートレイ

e-STUDIO2020ACおよびe-STUDIO2528Aにインナートレイを装着している場合の手順です。
e-STUDIO2525AC/3525AC/4525AC/5525AC、e-STUDIO3528A/4528A/5528Aにインナートレイを装着している場合は該当しません。

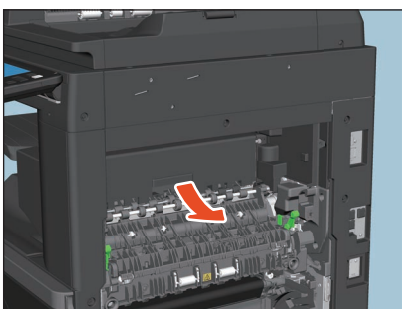
⚠ 注意

- 機体と自動両面ユニットカバーの間に指を挟み込まないように注意すること
けがの原因となります。
- 定着器およびその付近の金属部には触れないこと
やけどや、触れたショックで手を機器内部に当て、けがの原因となります。

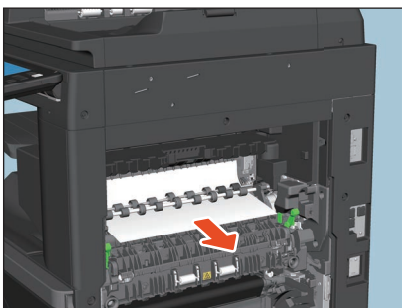
1 本体右側の自動両面ユニットカバーを開けます。



2 本体内側のカバーを開けます。



3 つまっている用紙を取り除きます。

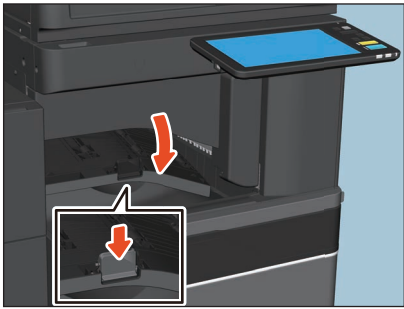


4 本体内側のカバーを閉めます。

5 自動両面ユニットカバーを閉めます。

■ 中継ユニット

- 1 取っ手をつまみながら、中継ユニットカバーを開けます。



- 2 中継ユニットから、つまっている用紙を取り除きます。



補足

用紙の右側が定着器に挟まれていて用紙を取り除けない場合には、以下の手順に従って、用紙を取り除いてください。

📖 P.33 「定着器」

- 3 中継ユニットカバーを閉めます。

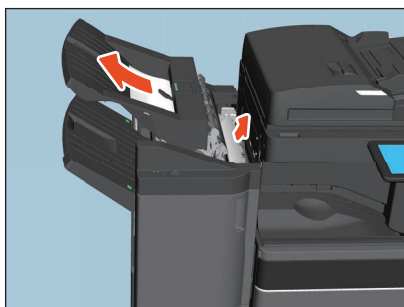
■ フィニッシャーとホールパンチユニット

1段目排紙トレイの紙づまり

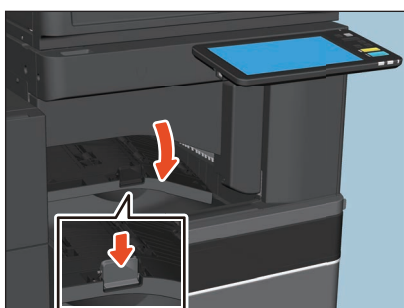
- 1 取っ手を上げ、フィニッシャーの上段排紙トレイを開けます。



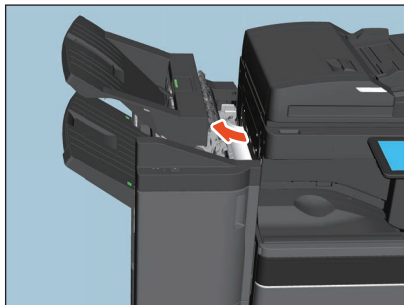
2 つまっている用紙を取り除きます。



3 取っ手をつまみながら、中継ユニットカバーを開けます。
ホールパンチユニットが装着されている場合は、手順5へ進んでください。

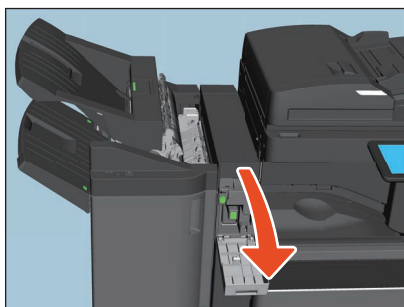


4 つまっている用紙を取り除きます。
手順8へ進んでください。

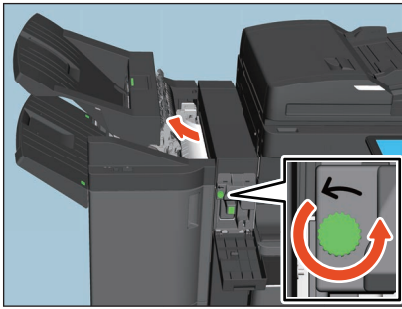


ホールパンチユニットが装着されている場合

5 ホールパンチユニットのカバーを開けます。



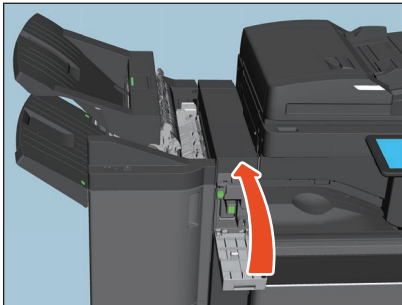
6 緑色のつまみを回して用紙を送り、取り除きます。



注意

必ずつまみを矢印方向に回して用紙を送って取り除いてください。つまみを回さずに無理に用紙を引っ張ると、用紙が破れることがあります。

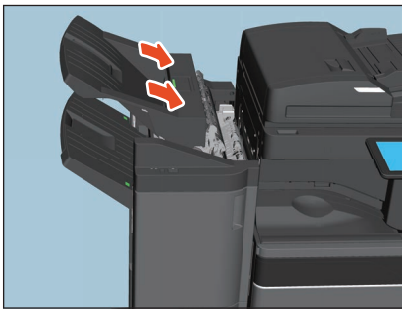
7 ホールパンチユニットのカバーを閉めます。



8 中継ユニットカバーを閉めます。

9 フィニッシャーの上段排紙トレイを閉めます。

取っ手の手前と奥に手を置き、カチッと音がするまで両手でしっかり押し込んでください。



⚠ 注意

フィニッシャー本体と上段排紙トレイの間に手を挟まないように注意すること
けがの原因となります。

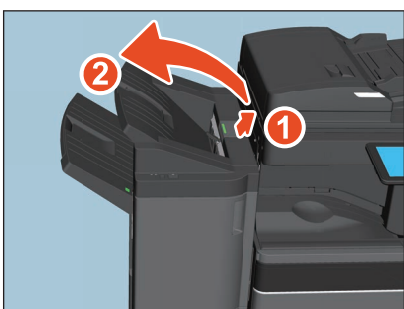
補 足

取っ手の右側を片手で押し閉めることもできます。



2段目排紙トレイの紙づまり

1 取っ手を上げ、フィニッシャーの上段排紙トレイを開けます。



2 つまっている用紙を取り除きます。

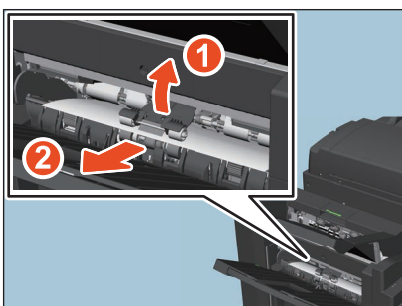


3 つまっている用紙を取り除きます。



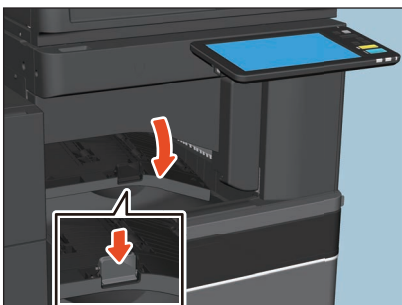
補足

用紙が排紙部のローラーに引っかかっているときは、ローラーを指で持ち上げて、つまっている用紙を取り除いてください。



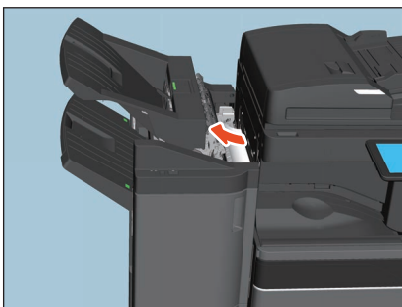
4 取っ手をつまみながら、中継ユニットカバーを開けます。

ホールパンチユニットが装着されている場合は、手順6へ進んでください。



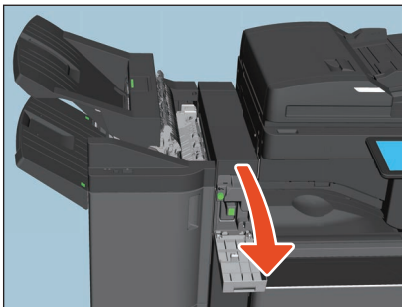
5 つまっている用紙を取り除きます。

手順9へ進んでください。

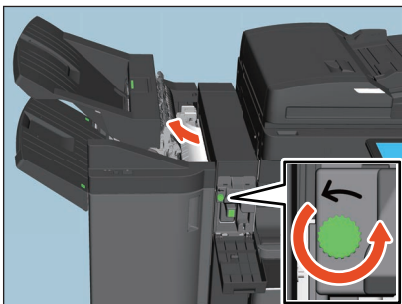


ホールパンチユニットが装着されている場合

6 ホールパンチユニットのカバーを開けます。



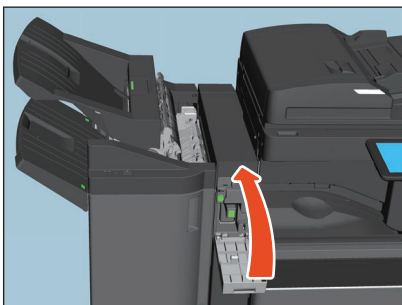
7 緑色のつまみを回して用紙を送り、取り除きます。



注意

必ずつまみを矢印方向に回して用紙を送って取り除いてください。つまみを回さずに無理に用紙を引っ張ると、用紙が破れることがあります。

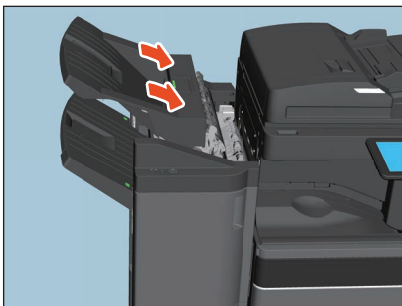
8 ホールパンチユニットのカバーを閉めます。



9 中継ユニットカバーを閉めます。

10 フィニッシャーの上段排紙トレイを閉めます。

取っ手の手前と奥に手を置き、カチッと音がするまで両手でしっかり押し込んでください。

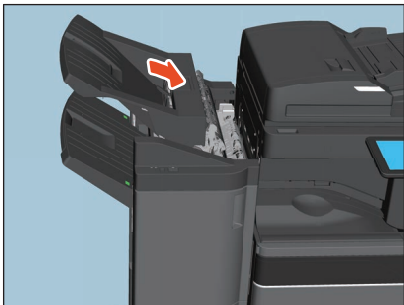


⚠ 注意

フィニッシャー本体と上段排紙トレイの間に手を挟まないように注意すること
けがの原因となります。

補足

取っ手の右側を片手で押し閉めることもできます。

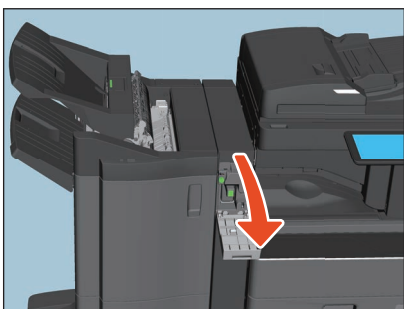


■ サドルステッチフィニッシャーとホールパンチユニット

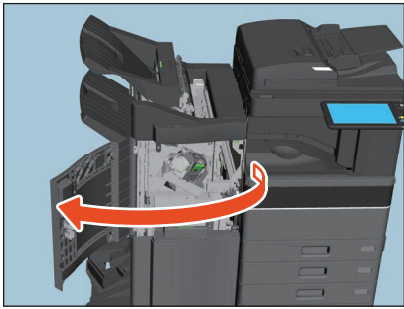
- 1 取っ手を上げ、フィニッシャーの上段排紙トレイを開けます。



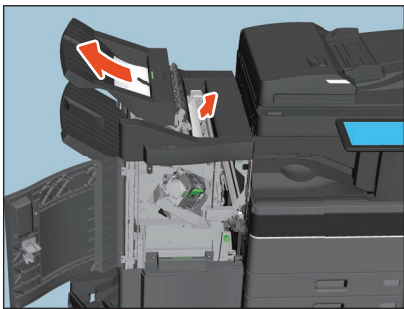
- 2 ホールパンチユニットを装着している場合は、ホールパンチユニットのカバーを開けます。



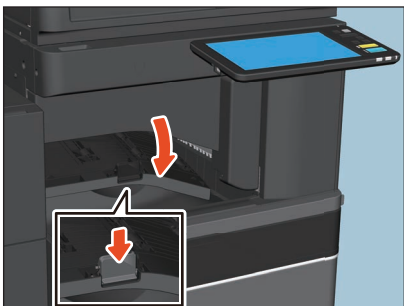
- 3 フィニッシャーの前面カバーを開けます。



- 4 つまっている用紙を、右側または左側から取り除きます。



- 5 取っ手をつまみながら、中継ユニットカバーを開けます。



- 6 中継ユニットから、つまっている用紙を取り除きます。

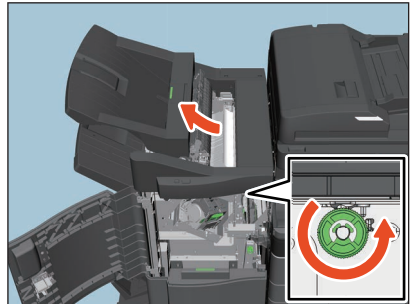


- 7 用紙サイズが小さいときは、以下の図の位置にあるつまみを回して用紙を送り、用紙を取り除きます。

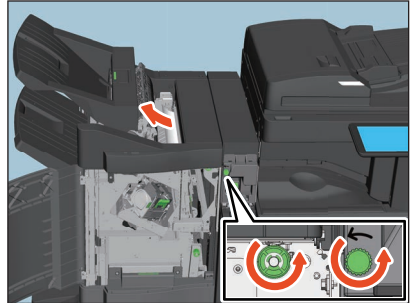
注意

ホールパンチユニットを装着している場合は、フィニッシャーの前面カバーを開けて、2つのつまみを同時に回してください。

ホールパンチユニットを装着していない場合

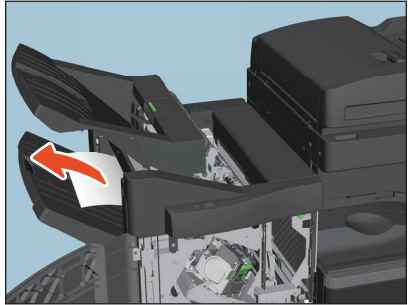


ホールパンチユニットを装着している場合



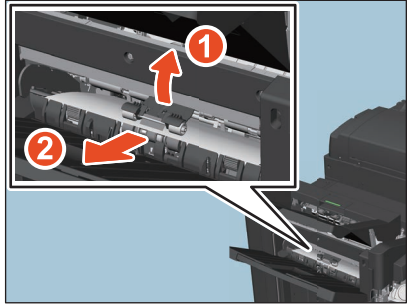
必ずつまみを矢印方向に回して用紙を送って取り除いてください。つまみを回さずに無理に用紙を引っ張ると、用紙が破れることがあります。

8 つまっている用紙を取り除きます。



補足

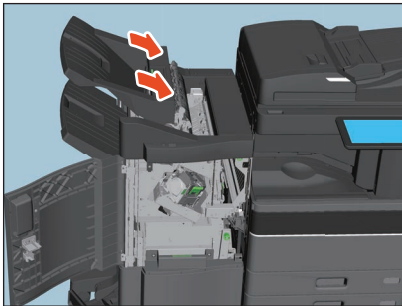
用紙が排紙部のローラーに引っかかっているときは、ローラーを指で持ち上げて、つまっている用紙を取り除いてください。



9 中継ユニットカバーを閉めます。

10 フィニッシャーの上段排紙トレイを閉めます。

取っ手の手前と奥に手を置き、カチッと音がするまで両手でしっかり押し込んでください。

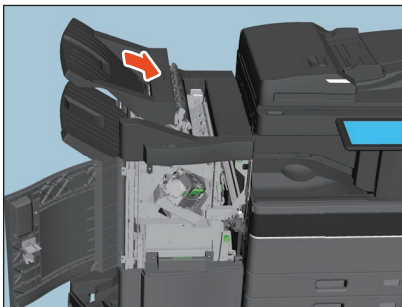


⚠ 注意

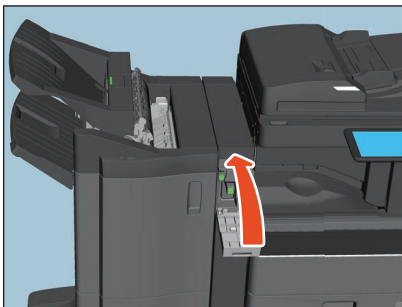
フィニッシャー本体と上段排紙トレイの間に手を挟まないように注意すること
けがの原因となります。

補足

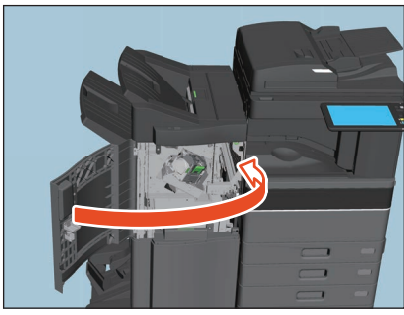
取っ手の右側を片手で押して閉めることもできます。



11 ホールパンチユニットを装着している場合は、ホールパンチユニットのカバーを閉めます。

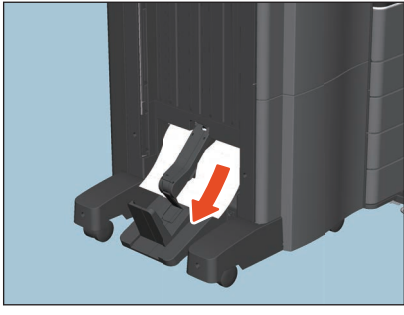


12 フィニッシャーの前面カバーを閉めます。

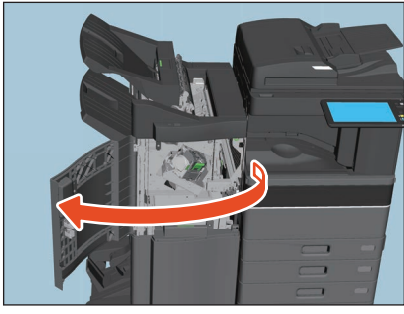


■ サドルステッチフィニッシャーのサドルステッチユニット

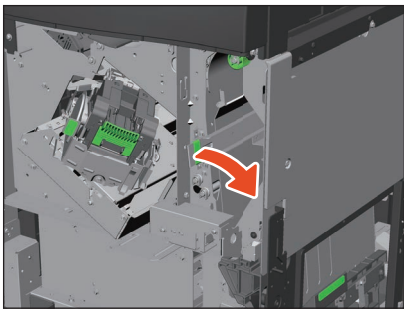
1 サドルステッチ部の排紙側につまっている用紙を取り除きます。



2 フィニッシャーの前面カバーを開けます。



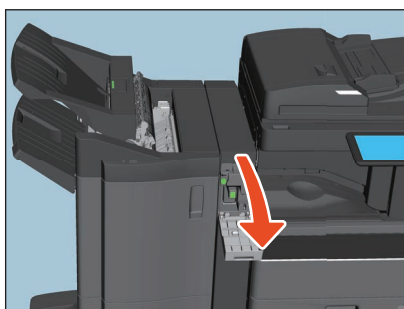
3 緑色の取っ手を持ち、ガイドを右に倒します。



-
- 4** 取っ手を上げ、フィニッシャーの上段排紙トレイを開けます。



- 5** ホールパンチユニットを装着している場合は、ホールパンチユニットのカバーを開けます。

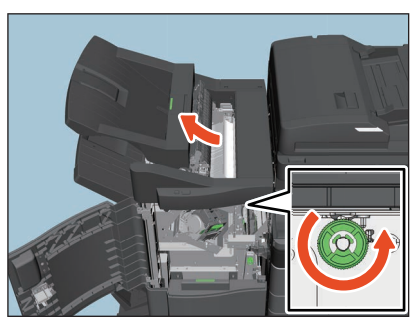


6 以下の図の位置にあるつまみを回して用紙を送り、用紙を取り除きます。

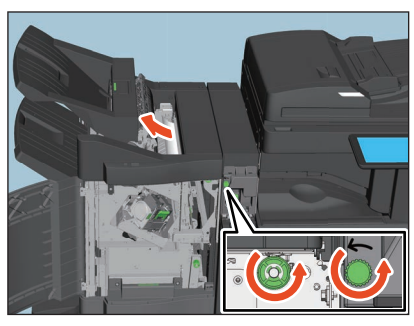
注意

ホールパンチユニットを装着している場合は、フィニッシャーの前面カバーを開けて、2つのつまみを同時に回してください。

ホールパンチユニットを装着していない場合



ホールパンチユニットを装着している場合

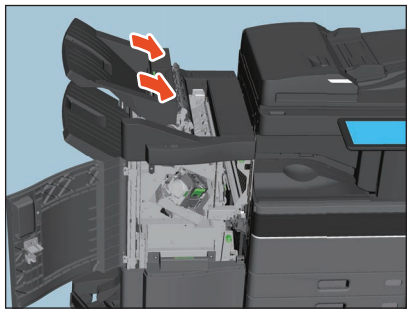


必ずつまみを矢印方向に回して用紙を送って取り除いてください。つまみを回さずに無理に用紙を引っ張ると、用紙が破れることがあります。

紙づまりが発生したときの用紙の位置によっては、用紙がサドルステッチ部内部に送られることもあります。この場合は、手順7を行ってください。

7 フィニッシャーの上段排紙トレイを閉めます。

取っ手の手前と奥に手を置き、カチッと音がするまで両手でしっかり押し込んでください。

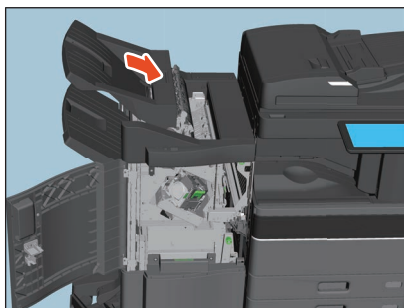


注意

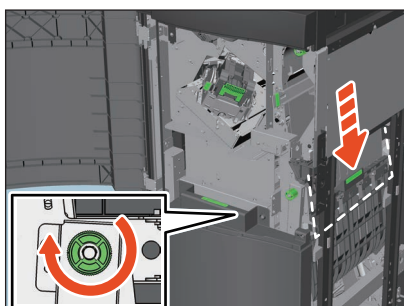
フィニッシャー本体と上段排紙トレイの間に手を挟まないように注意すること
けがの原因となります。

補足

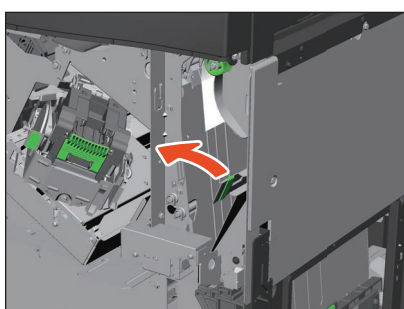
取っ手の右側を片手で押し閉めることもできます。



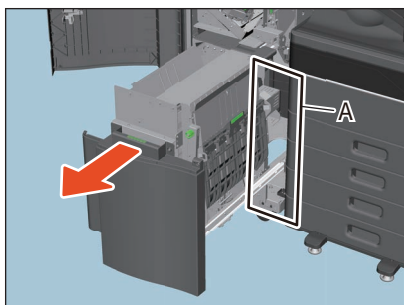
- 8 緑色のつまみを回して、用紙が見えなくなるまで、下方方向に移動させます。



- 9 緑色の取っ手を持ち、ガイドを左に戻します。



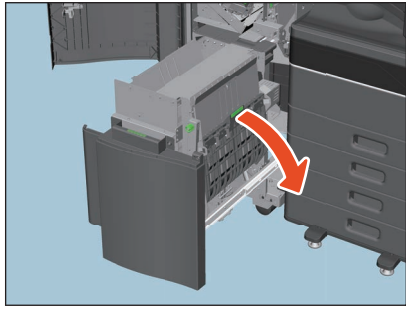
- 10 サドルステッチユニットを止まるまで引き出します。



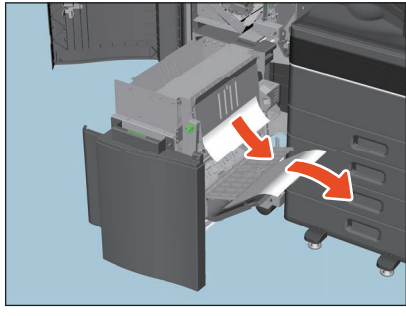
⚠ 注意

サドルステッチユニットの奥の開口部 (A) に手を入れないこと
手を挟み、けがの原因となります。

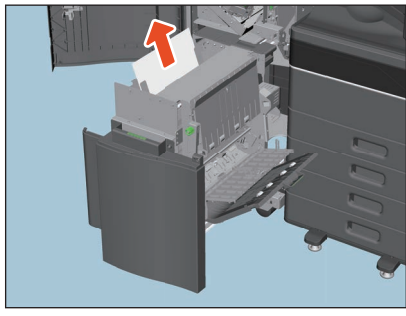
11 右側の搬送ガイドを開けます。



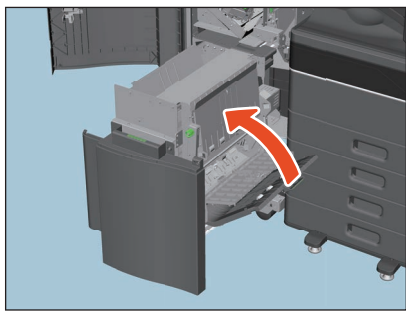
12 用紙を取り除きます。



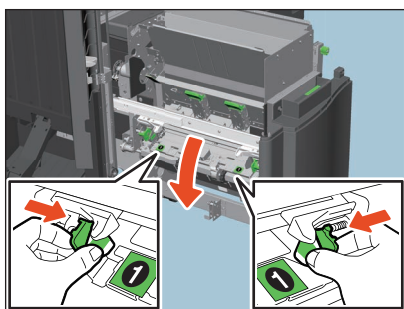
13 サドルステッチユニット内部にある用紙を取り除きます。



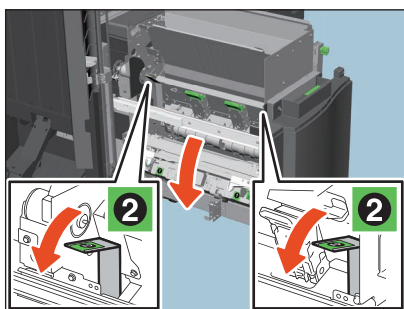
14 搬送ガイドを閉めます。



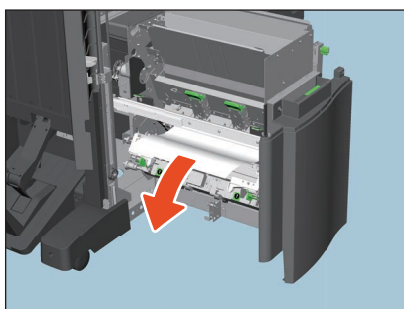
15 緑色のつまみを両手でつまみながら、サドルステッチユニットの左側の搬送ガイドを開けます。



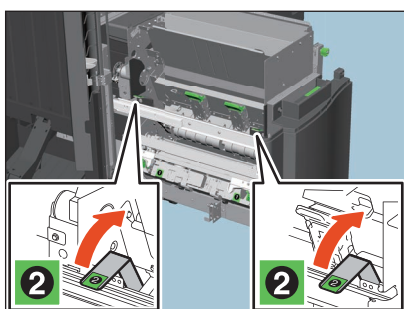
16 緑色のレバー（2か所）を押し下げます。



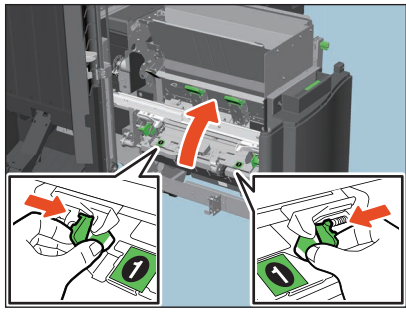
17 用紙を取り除きます。



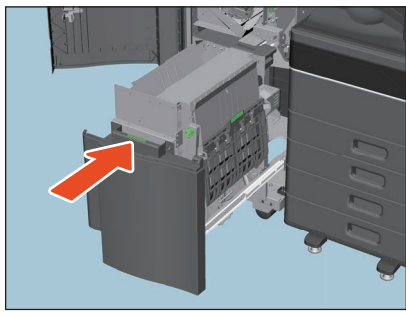
18 緑色のレバー（2か所）を押し上げます。



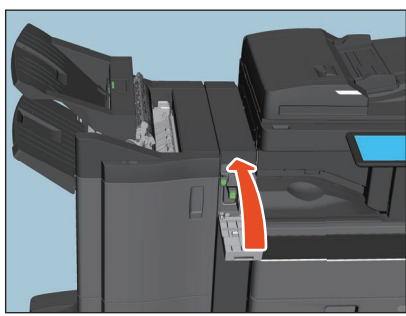
19 緑色のつまみを両手でつまみながら、サドルステッチユニットの左側の搬送ガイドを閉めます。



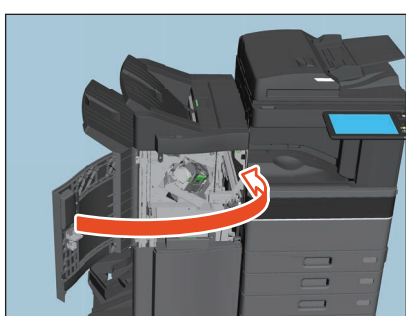
20 サドルステッチユニットを元に戻します。



21 ホールパンチユニットを装着している場合は、ホールパンチユニットのカバーを閉めます。



22 フィニッシャーの前面カバーを閉めます。

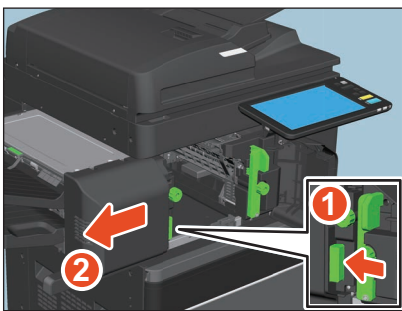


■ インナーフィニッシャーとホールパンチユニット

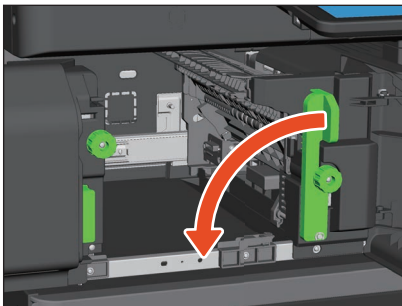
- 1 操作パネルを上げ、フィニッシャーの前面カバーを開けます。



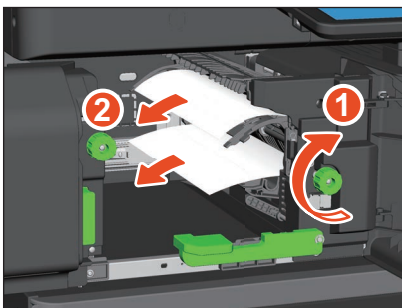
- 2 緑色のレバーを押しながら、フィニッシャーを左に止まるまで動かします。



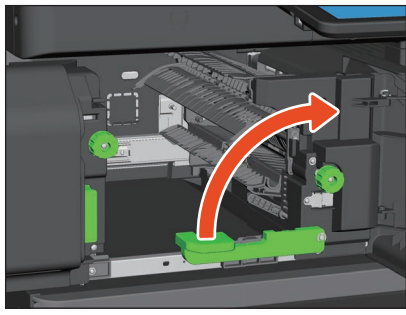
- 3 フィニッシャーの右側のユニットにある緑色のレバーを倒します。
本体の排紙口が開きます。



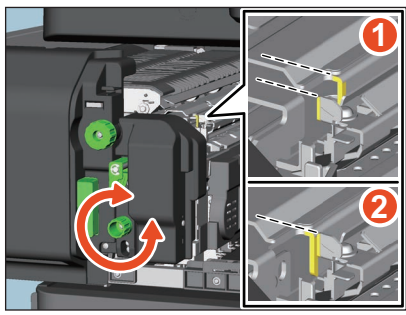
- 4 緑色のダイヤルを時計回りに回して、つまっている用紙を取り除きます。



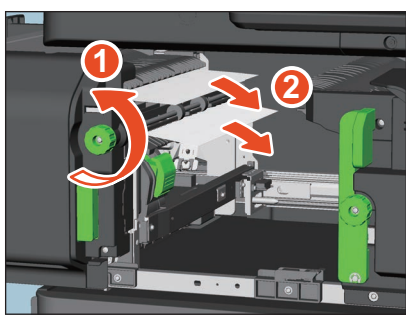
5 緑色のレバーを元に戻します。



6 ホールパンチユニットを装着して、ホールパンチ機能を使用していたときは、緑色のダイヤルを、引きながら回し、黄色のマークの前後の位置を合わせます。



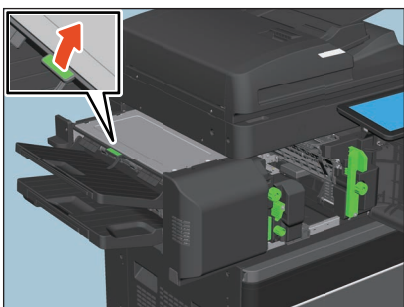
7 上側の緑色のダイヤルを反時計回りに回して、つまっている用紙を取り除きます。



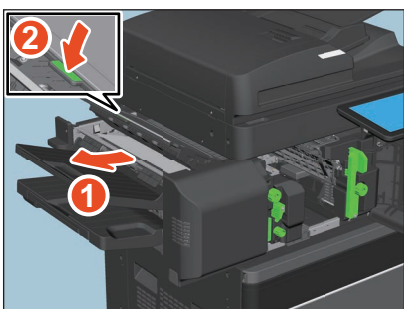
8 上側の緑色のダイヤルを時計回りに回して、つまっている用紙を取り除きます。



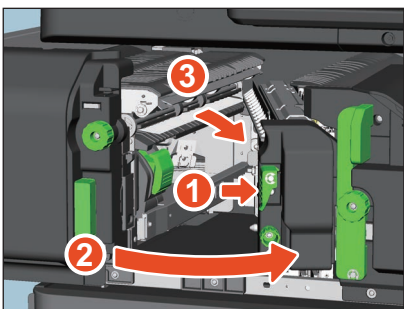
9 緑色の取っ手を持ち上げ、上カバーを開きます。



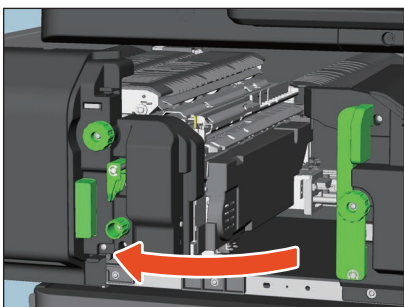
10 つまっている用紙を取り除き、上カバーを閉めます。



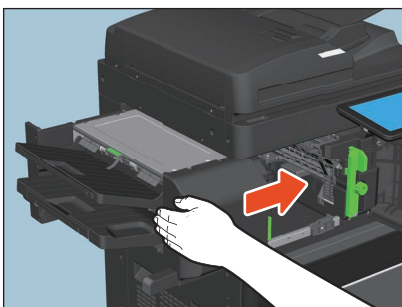
11 緑色のレバーを押しながらホールパンチユニットを開け、つまっている用紙を取り除きます。



12 ホールパンチユニットを元に戻します。



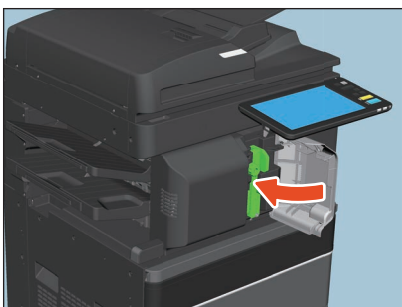
13 フィニッシャーを静かに元に戻します。



⚠ 注意

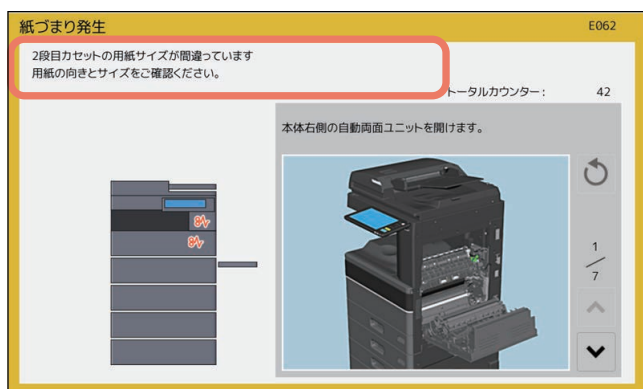
フィニッシャー上面に手を置いたまま閉めないこと
指を挟んでけがをすることがあります。

14 フィニッシャーの前面カバーを閉めます。



■ 用紙サイズの設定間違いによる紙づまりの解除

カセットや手差しトレイに入っている用紙のサイズと機体に登録されている用紙サイズが一致していないと紙づまりが起こります。画面上には「*段目カセットの用紙サイズが間違っています 用紙の向きとサイズをご確認ください。」または「手差しの用紙サイズが間違っています 用紙の向きとサイズをご確認ください。」というメッセージが表示されます。



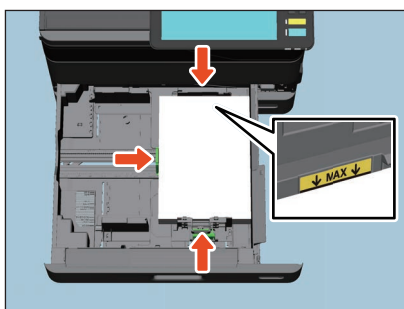
この場合、つまっている用紙を取り除くだけでは再び紙づまりが発生します。必ず下記の手順に従って対処してください。
紙づまりがコピー中およびプリンター出力中に発生したか、ファクス出力中に発生したかによって対処方法が異なります。

□ コピー中またはプリンター出力中に発生した場合（カセット使用時）

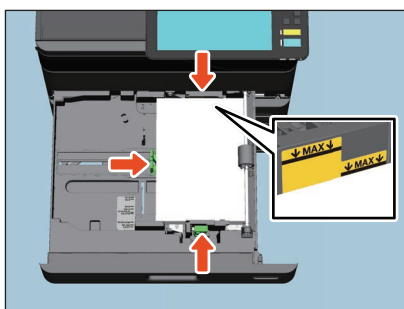
- 1 画面に表示されるガイダンスに従って紙づまりを解除します。
- 2 給紙したカセットを開け、用紙を入れすぎていないこと、折れ・曲がりがないこと、ガイド幅が適切なことを確認します。

注意

用紙の量は、カセットの内側にある上限表示を超えないようにしてください。



特にe-STUDIO2020ACの1段目のカセットに厚紙をセットするときは、セットできる用紙の量が普通紙よりも少ないので、厚紙用の上限表示を超えないように注意してください。



- 3 開いているカセットやカバーをすべて閉めます。

- 4 「中断中の印刷の扱いを選択してください」と表示されたら、[削除する] を押します。
印刷ジョブが削除されます。

補 足

ジョブスキップ設定を有効にしている場合は、[スキップする] と表示されます。[スキップする] を選択すると、印刷ジョブは中断されたままになります。ジョブスキップ設定について詳しくは、以下の参照先をご覧ください。

設定/登録 - 設定項目（管理者設定） - 機器設定 - ジョブ制御を設定する



印刷ジョブを削除したくない場合は

紙づまりを解除してから、カセット内の用紙を機体に設定されている用紙サイズに合ったものと交換してください。その後、手順4で [再開する] を押すと、印刷ジョブを再開できます。この場合、手順5以降は不要です。

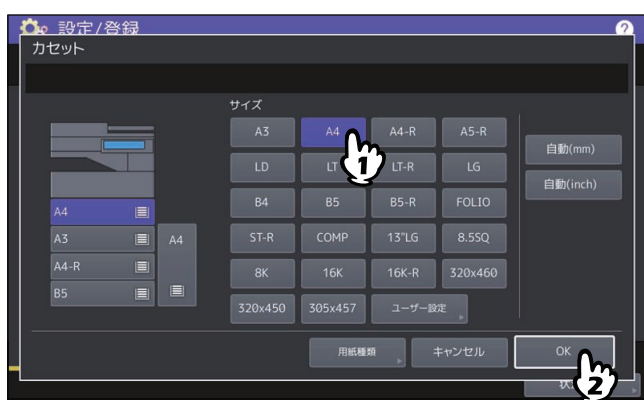
- 5 タッチパネルの [設定登録-ユーザー] を押して設定/登録メニューに入ります。
- 6 [ユーザー設定] タブを押してユーザー設定メニューに入り、[カセット] を押します。



7 メッセージで指定されたカセットボタンを押します。



8 用紙サイズを設定しなおし、[OK] を押します。



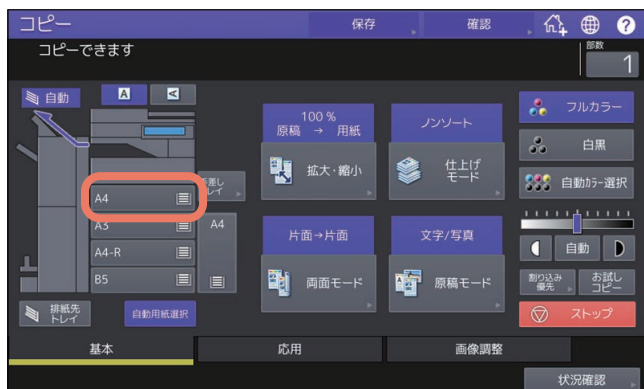
補足

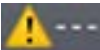
用紙サイズの設定方法については、以下の参照先をご覧ください。
用紙の準備 - 用紙をセットする - セットした用紙を設定する - 用紙サイズを設定する

9 [ホーム] ボタンを押して基本画面に戻り、[コピー] ボタンを押してコピー画面に入ります。

10 手順8で【自動 (mm)】または【自動 (inch)】を選んだ場合は、セットした用紙のサイズが正しく検知されていることを確認します。

本機が検知した用紙サイズは、画面左側に表示される機体表示部のカセットボタン上で確認できます。



セットした用紙のサイズとは異なるサイズが表示されている場合や「」と表示されている場合は、用紙サイズが正しく検知されていません。この場合は以下の参照先をご覧ください。
📖 P.9 「こんな画面が表示されたら」

11 コピーやプリントをやり直します。

□ コピー中またはプリンター出力中に発生した場合（手差しトレイ使用時）

- 1 画面に表示されるガイダンスに従って紙づまりを解除してから、開いているカバーをすべて閉めます。
- 2 「中断中の印刷の扱いを選択してください」と表示されたら、[削除する] を押します。
印刷ジョブが削除されます。

補 足

ジョブスキップ設定を有効にしている場合は、[スキップする] と表示されます。[スキップする] を選択すると、印刷ジョブは中断されたままになります。ジョブスキップ設定について詳しくは、以下の参照先をご覧ください。

設定/登録 - 設定項目（管理者設定） - 機器設定 - ジョブ制御を設定する



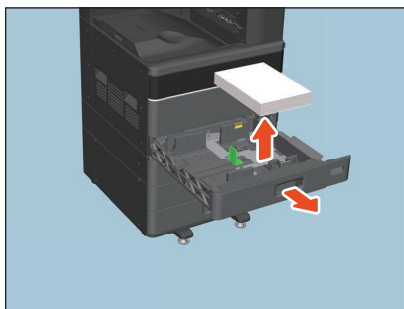
印刷ジョブを削除したくない場合は

紙づまりを解除してから、カセット内の用紙を機体に設定されている用紙サイズに合ったものと交換してください。その後、手順2で [再開する] を押すと、印刷ジョブを再開できます。この場合、手順3以降は不要です。

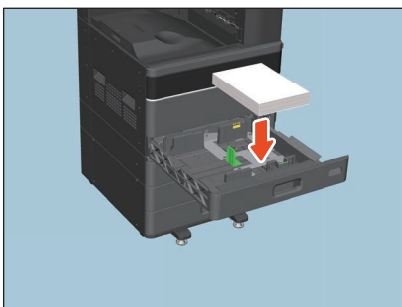
- 3 手差しトレイに用紙をセットし、用紙サイズを設定しなおします。
- 4 コピーやプリントをやり直します。

□ ファクス出力中に発生した場合

- 1 紙づまりが発生したカセットを引き出し、用紙をすべて取り出します。
用紙サイズを [自動 (mm)] または [自動 (inch)] に設定していてこの紙づまりが発生する場合は、カセットに入っている用紙のサイズが正しく検知されていないことが原因です。その場合は用紙を取り出さずに、手順3に進んでください。



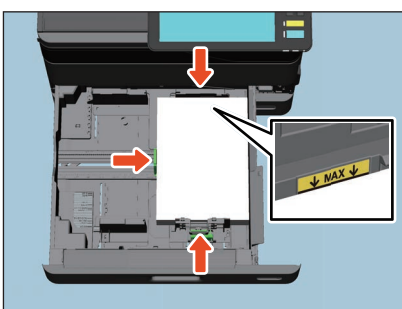
- 2 設定されている用紙サイズに合った用紙をカセットに入れます。



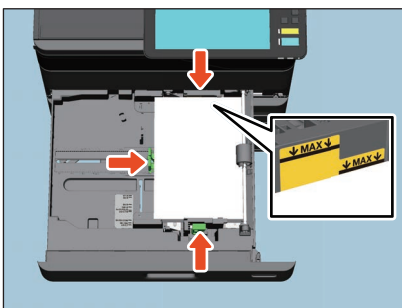
- 3 用紙を入れすぎていないこと、折れ・曲がりがないこと、ガイド幅が適切なことを確認します。

注意

用紙の量は、カセットの内側にある上限表示を超えないようにしてください。



特にe-STUDIO2020ACの1段目のカセットに厚紙をセットするときは、セットできる用紙の量が普通紙よりも少ないので、厚紙用の上限表示を超えないように注意してください。



- 4 画面に表示されるガイダンスに従って紙づまりを解除してから、開いているカセットやカバーをすべて閉めます。
印刷が再開されます。

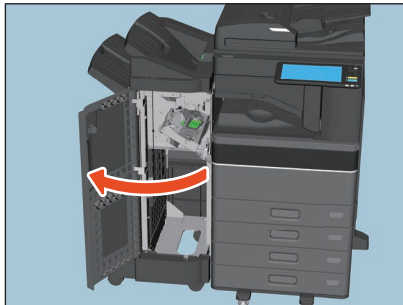
ステイプラーの針づまりの解除

フィニッシャーおよびサドルステッチユニットのステイプラーの針がつまったときは、以下の手順に従って針づまりを解除してください。

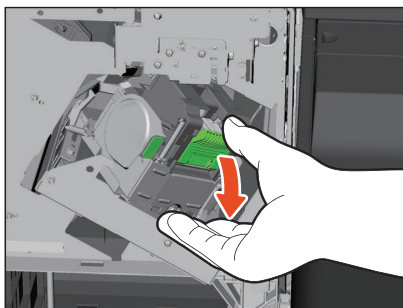
■ フィニッシャーのステイプラー

□ フィニッシャー／サドルステッチフィニッシャー

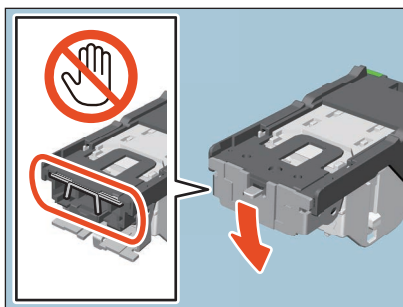
1 フィニッシャーの前面カバーを開けます。



2 ステイプルカートリッジを取り外します。



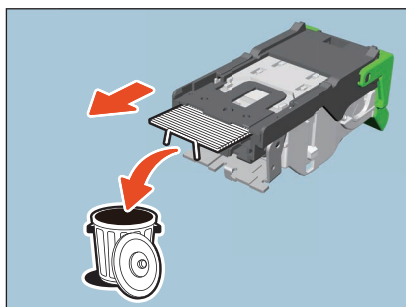
3 つまみを持って、ガイドを下げます。



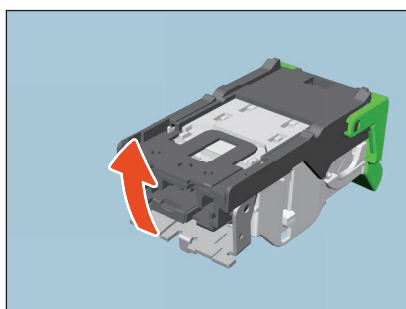
⚠ 注意

針打ち部には触れないこと
針先による、けがの原因となります。

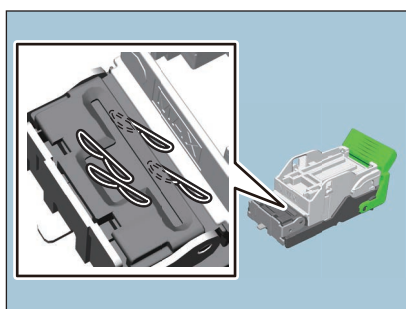
- 4 一番上の針シートを1枚、取り除きます。



- 5 つまみを持ってガイドを上げ、元に戻します。



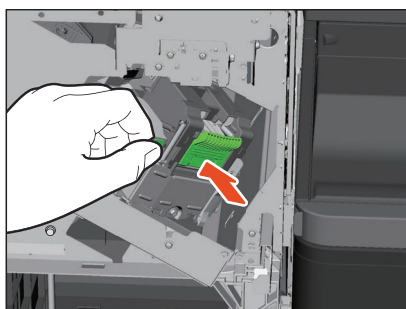
- 6 ステップルカートリッジと針ケースの間や、針受け部に針が落ちている場合は、針を取り除きます。



- 7 ステップルカートリッジをステイプラーに取り付けます。

カートリッジを取り付けるときは、ブラケットの緑色のラベル部分を片手でしっかりつかんでブラケットを固定してください。

ステップルカートリッジにツメが掛かり、カチッと音がして固定されるまで入れてください。



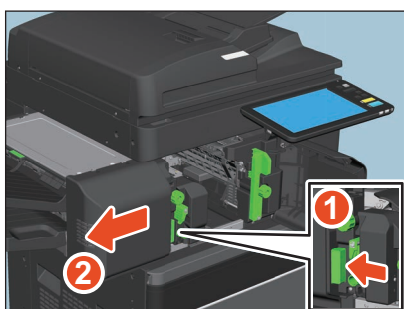
- 8 フィニッシャーの前面カバーを閉めます。

□ インナーフィニッシャー

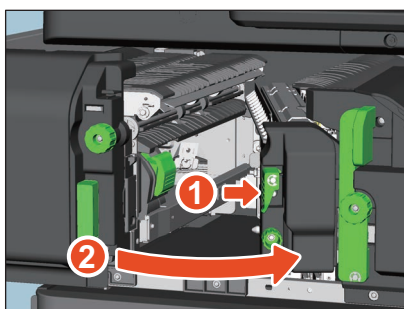
- 1 操作パネルを上げ、フィニッシャーの前面カバーを開けます。



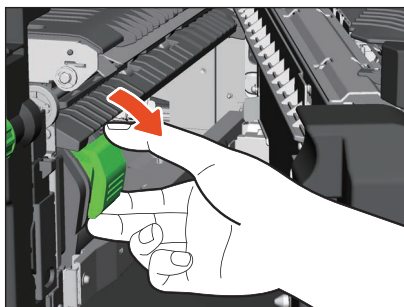
- 2 緑色のレバーを押しながら、フィニッシャーを左に止まるまで動かします。



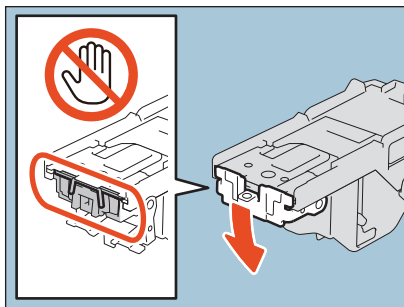
- 3 緑色のレバーを押しながら、ホールパンチユニットを開けます。



- 4 ステイ플カートリッジを取り外します。



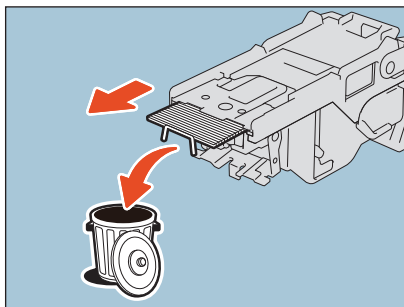
5 つまみを持って、ガイドを下げます。



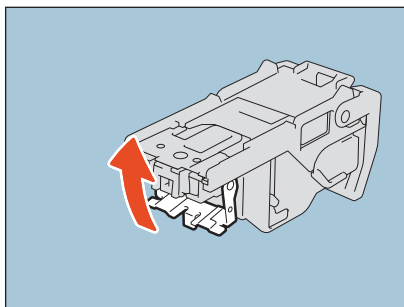
⚠ 注意

針打ち部には触れないこと
針先による、けがの原因となります。

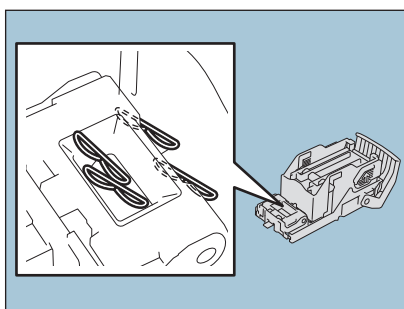
6 一番上の針シートを1枚、取り除きます。



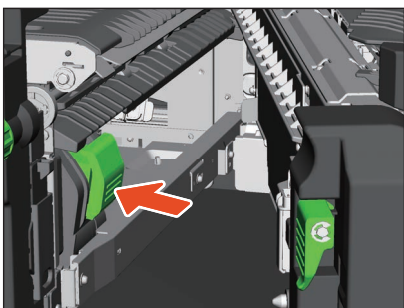
7 つまみを持ってガイドを上げ、元に戻します。



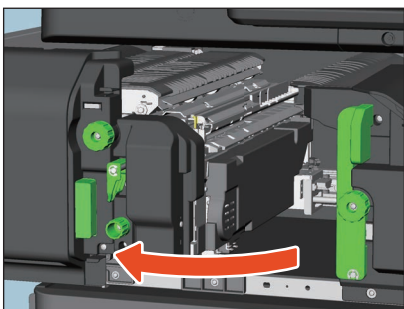
8 ステップルカートリッジと針ケースの間や、針受け部に針が落ちている場合は、針を取り除きます。



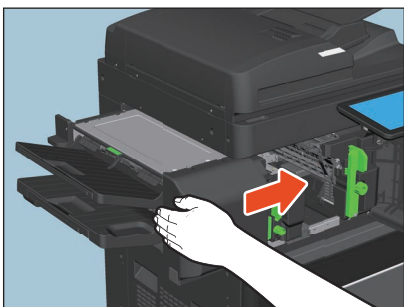
- 9** ステップカートリッジをステイプラーに取り付けます。
ステップカートリッジにツメが掛かり、カチッと音がして固定されるまで入れてください。



- 10** ホールパンチユニットを元に戻します。



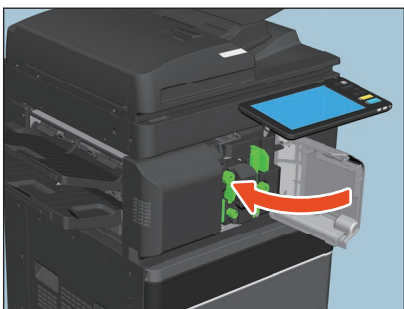
- 11** フィニッシャーを静かに元に戻します。



⚠ 注意

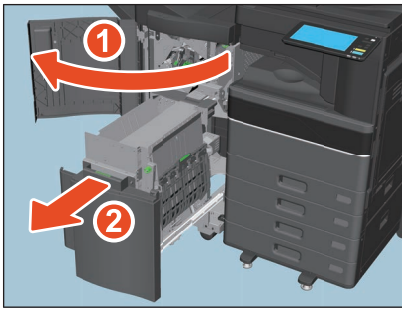
フィニッシャー上面に手を置いたまま閉めないこと
指を挟んでけがをすることがあります。

- 12** フィニッシャーの前面カバーを閉めます。

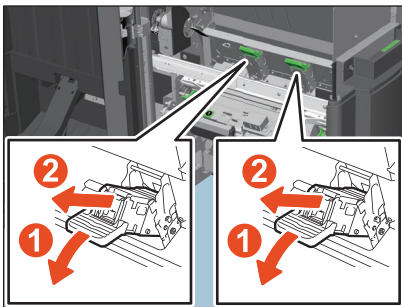


■ サドルステッチユニットのステイプラー

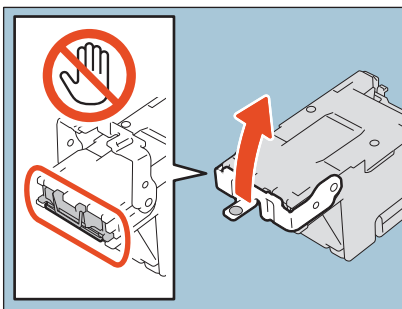
- 1 フィニッシャーの前面カバーを開け、サドルステッチユニットを止まるまで引き出します。



- 2 ステイプルカートリッジを取り外します。



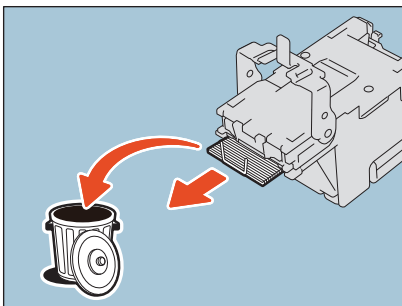
- 3 つまみを持って、ガイドを上げます。



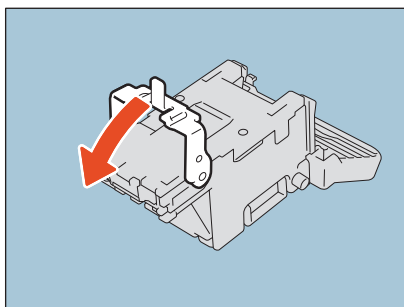
⚠ 注意

針打ち部には触れないこと
針先による、けがの原因となります。

- 4 一番上の針シートを1枚、取り除きます。

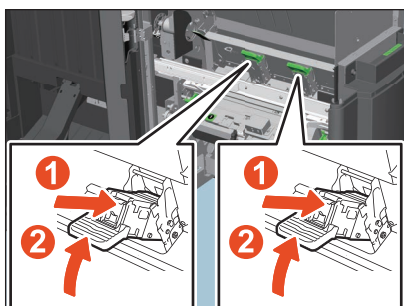


5 つまみを持ってガイドを下げ、元に戻します。

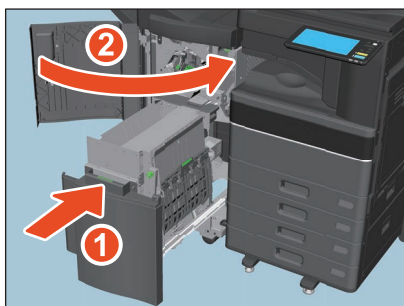


6 ステイプルカートリッジを取り付けます。

ステイプルカートリッジにツメが掛かり、カチッと音がして固定されるまで入れてください。



7 サドルステッチユニットを元に戻し、フィニッシャーの前面カバーを閉めます。



トナーカートリッジの交換

トナーカートリッジ内のトナーがなくなると、画面に「***トナーがなくなりました 新しいカートリッジと交換してください」というメッセージが表示されます。(カラー機の場合、「***」に対象の色が表示されます。) このメッセージが表示されたときは、以下の手順に従ってトナーカートリッジを交換してください。

タッチパネルにガイダンスが表示されます。▲または▼を押してガイダンスを前後にたどることができます。



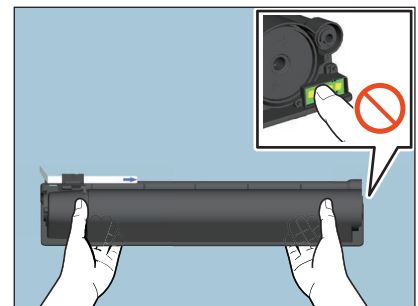
警告

トナーカートリッジを火の中に入れてはいけないこと

火の中に入れると爆発・破裂の原因となります。また、使用済みのトナーカートリッジは廃棄しないでください。弊社販売店のサービスエンジニアが回収します。

トナーカートリッジの接点に触れないでください。

本機がトナーカートリッジを認識しなかったり、接点が破損したりする恐れがあります。



補足

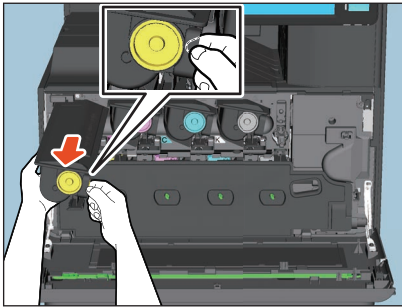
「トナーが少なくなっています」というメッセージが表示されている間は、まだトナーカートリッジ内にトナーが残っています。この状態でトナーカートリッジを交換する必要はありません。

■ カラー機

1 本体の前面カバーを開けます。



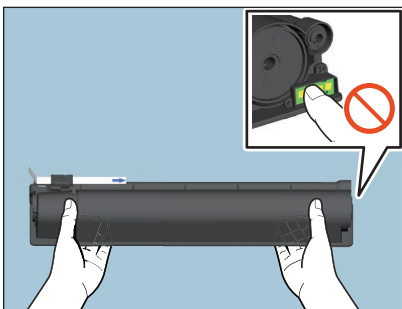
- 2 交換する色のトナーカートリッジの右側に指を掛けて、下から手で支えながら、手前に引き抜きます。



⚠ 警告

トナーカートリッジを火の中に入れてはいけないこと
火の中に入れると爆発・破裂の原因となります。また、使用済みのトナーカートリッジは、廃棄しないでください。弊社販売店のサービスエンジニアが回収します。

- 3 新しいトナーカートリッジを、シールを上にして持ちます。



注意

基板上の金属接点に触れないでください。

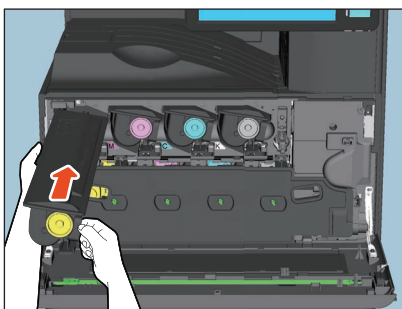
- 4 新しいトナーカートリッジを、シールを上にして強く振って、中のトナーをほぐします。



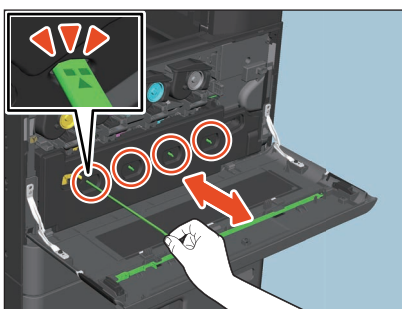
- 5 シールを、矢印の方向にまっすぐ引き抜きます。



- 6 新しいトナーカートリッジをガイドに合わせて、黒色の線まで押し入れます。



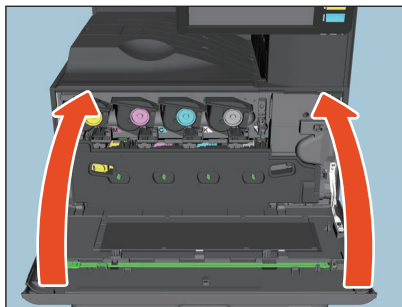
- 7 緑色のクリーニング棒を印の位置まで引いてから戻します。これを3回ずつ、4か所とも行います。



注意

クリーニング棒は抜けない構造になっています。無理に引き抜こうとすると、故障の原因となります。

- 8 前面カバーの両端を押して閉めます。



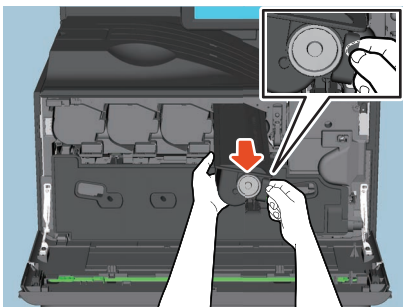
■ モノクロ機

□ e-STUDIO5528A

- 1 本体の前面カバーを開けます。



- 2 交換する色のトナーカートリッジの右側に指を掛けて、下から手で支えながら、手前に引き抜きます。

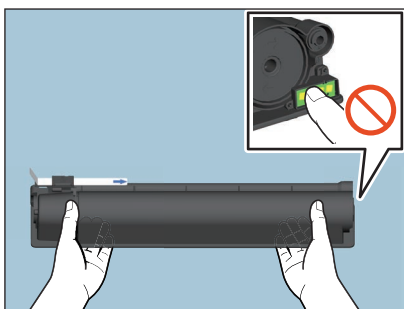


⚠ 警告

トナーカートリッジを火の中に入れてはいけないこと

火の中に入れると爆発・破裂の原因となります。また、使用済みのトナーカートリッジは、廃棄しないでください。弊社販売店のサービスエンジニアが回収します。

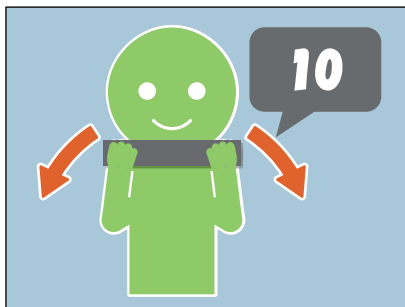
- 3 新しいトナーカートリッジを、シールを上にして持ちます。



注意

基板上の金属接点に触れないでください。

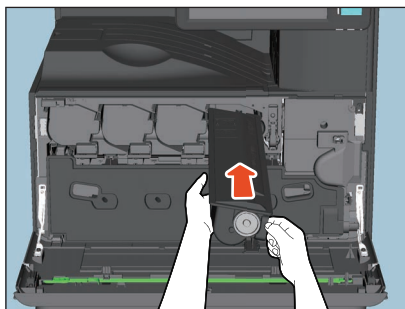
4 新しいトナーカートリッジを、シールを上にして強く振って、中のトナーをほぐします。



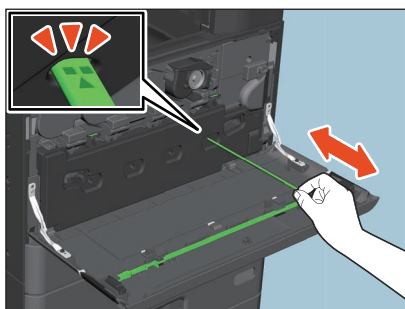
5 シールを、矢印の方向にまっすぐ引き抜きます。



6 新しいトナーカートリッジをガイドに合わせて、黒色の線まで押し入れます。



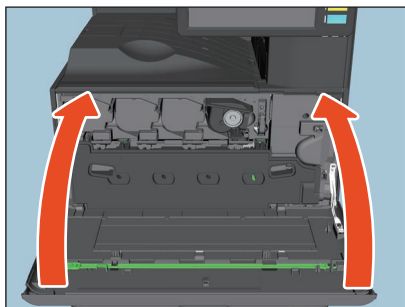
7 緑色のクリーニング棒を印の位置まで引いてから戻します。これを3回ずつ、4か所とも行います。



注意

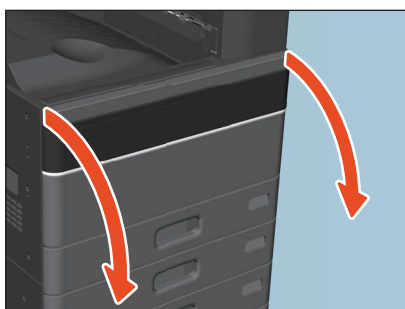
クリーニング棒は抜けない構造になっています。無理に引き抜こうとすると、故障の原因となります。

8 前面カバーの両端を押して閉めます。

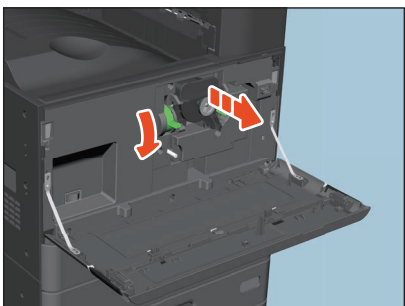


e-STUDIO2528A/3528A/4528A

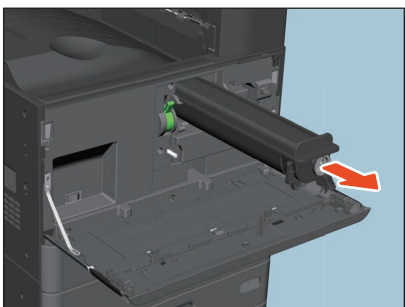
1 本体の前面カバーを開けます。



2 緑色のレバーを押し下げます。
トナーカートリッジが少し押し出されます。



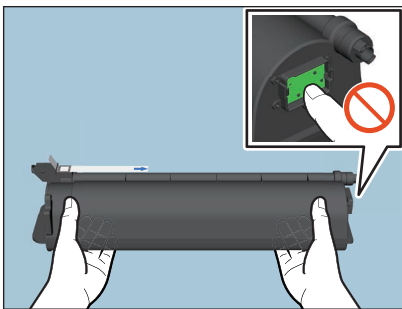
3 トナーカートリッジを引き抜きます。



⚠ 警告

トナーカートリッジを火の中に入れてはいけないこと
火の中に入れると爆発・破裂の原因となります。また、使用済みのトナーカートリッジは、廃棄しないでください。弊社販売店のサービスエンジニアが回収します。

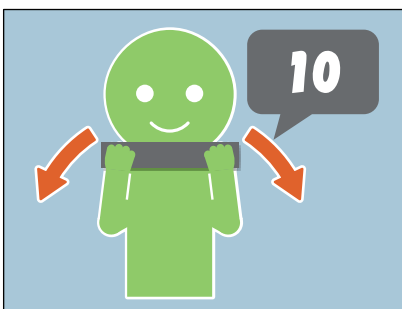
4 新しいトナーカートリッジを、シールを上にして持ちます。



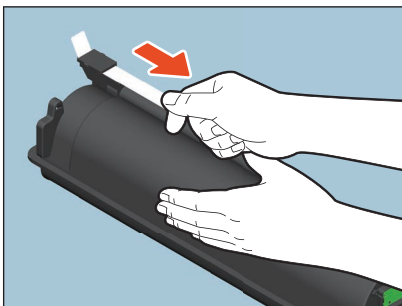
注意

基板上の金属接点に触れないでください。

5 新しいトナーカートリッジを、シールを上にして強く振って、中のトナーをほぐします。

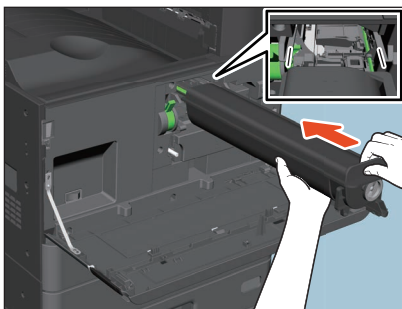


6 シールを、矢印の方向にまっすぐ引き抜きます。

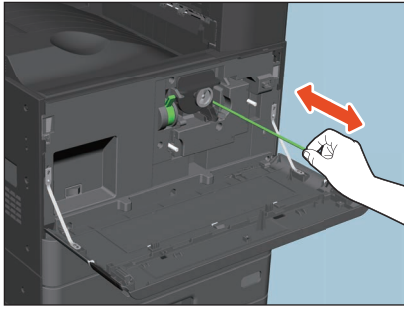


7 新しいトナーカートリッジを、レールに沿って差し込みます。

カチッと音がするまで差し込んでください。



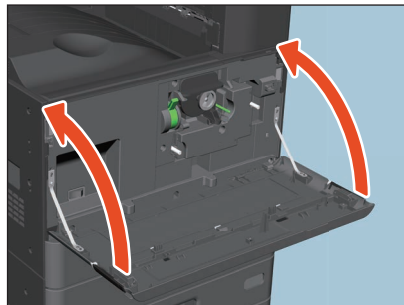
-
- 8 クリーニング棒を、止まるまでゆっくり引き出してから、元の位置までまっすぐゆっくりと押し込みます。この動作を2、3回繰り返します。



注意

クリーニング終了後、クリーニング棒のつまみが奥まで押し込まれていることを確認してください。

- 9 前面カバーの両端を押して閉めます。

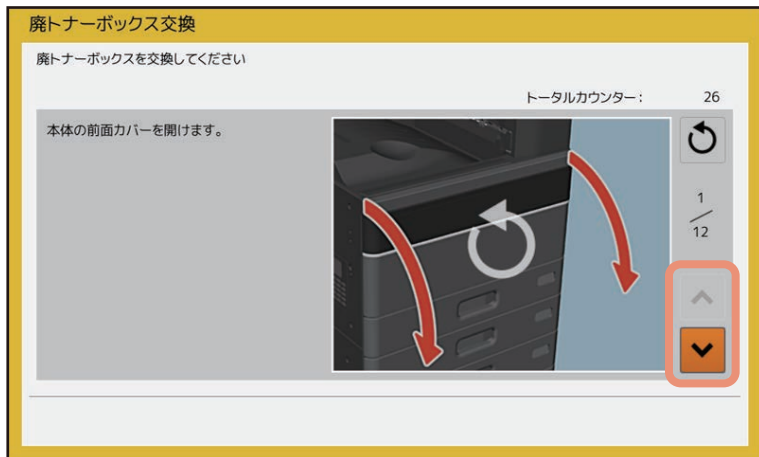


廃トナーボックスの交換

(e-STUDIO5525AC Series、e-STUDIO5528A)

廃トナーボックスが使用済みのトナーでいっぱいになると、廃トナーボックス交換マークが点滅し、「廃トナーボックスを交換してください」というメッセージが表示されます。その場合は以下の手順に従って、廃トナーボックスを交換してください。

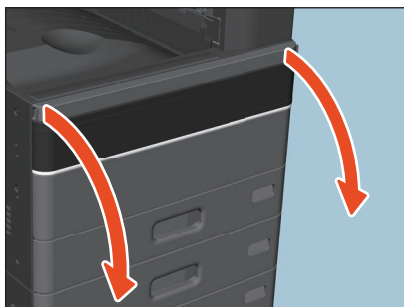
タッチパネルにガイダンスが表示されます。▲ または ▼ を押してガイダンスを前後にたどることができます。



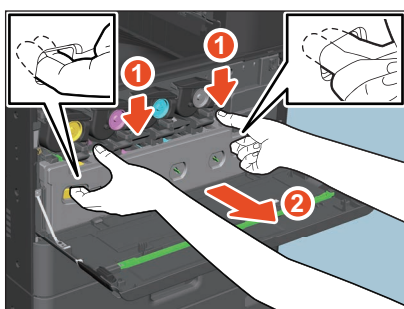
警告

使用済みの廃トナーボックスを火の中に入れてはいけないこと
火の中に入れると爆発・破裂の原因となります。また、使用済みの廃トナーボックスは、廃棄しないでください。弊社販売店のサービスエンジニアが回収します。

1 本体の前面カバーを開けます。



2 廃トナーボックス前面のくぼみに指を掛けて、上部のツメを押し下げたまま、手前にまっすぐ取り外します。

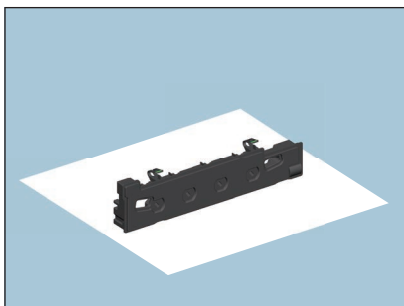


⚠ 警告

使用済みの廃トナーボックスを火の中に入れてはいけないこと

火の中に入れると爆発・破裂の原因となります。また、使用済みの廃トナーボックスは、廃棄しないでください。弊社販売店のサービスエンジニアが回収します。

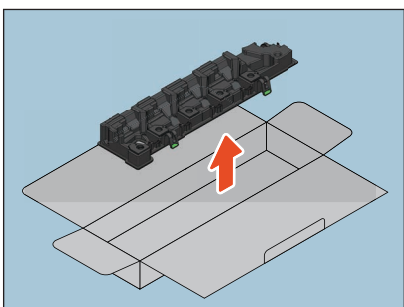
3 床面を汚さないように、大きめの紙の上に廃トナーボックスを置きます。



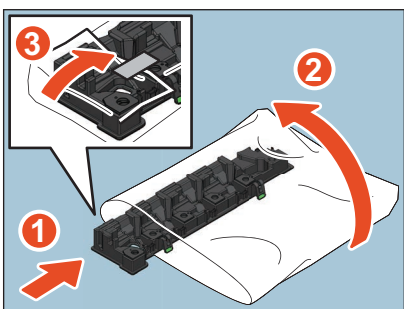
注意

廃トナーボックスを、廃トナー回収口のある面を下に向けないこと
廃トナー回収口から使用済みのトナーがこぼれる恐れがあります。

4 新しい廃トナーボックスを箱から取り出します。



5 使用済みの廃トナーボックスをビニール袋に入れ、テープでふさいでください。

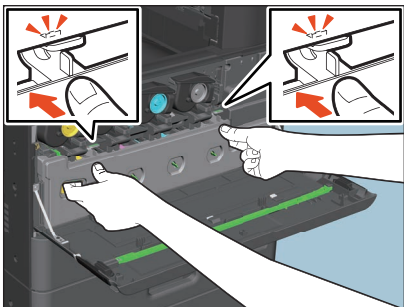


6 LEDプリントヘッド (e-STUDIO2020AC) /スリットガラス (e-STUDIO2020AC以外) をクリーニングします。

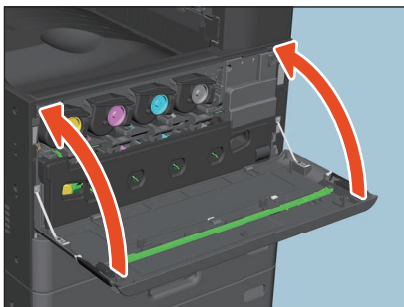
e-STUDIO2020AC : ❷ P.89 「帯電チャージャーとLEDプリントヘッド (e-STUDIO2020AC)」の手順5～11を行ってください。

e-STUDIO2020AC以外 : ❷ P.92 「帯電チャージャーとスリットガラス (e-STUDIO2525AC/3525AC/4525AC/5525ACおよびe-STUDIO5528A)」の手順5～9を行ってください。

7 新しい廃トナーボックスを、上部のツメがカチッと音がするまで確実に押し込みます。



8 前面カバーの両端を押して閉めます。



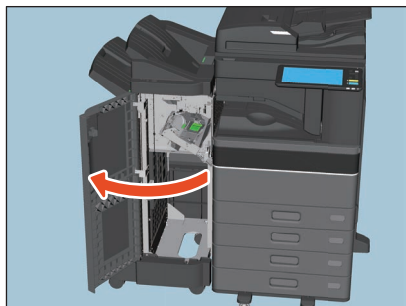
ステイプラーの針の補充

フィニッシャーおよびサドルステッチユニットのステイプラーの針がなくなったときは、以下の手順に従って針を補充してください。

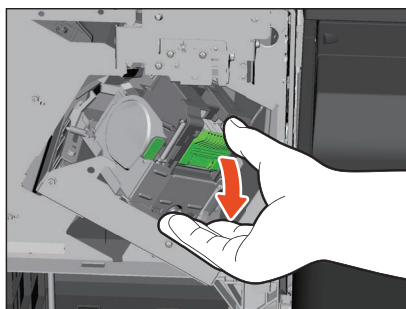
■ フィニッシャーのステイプラー

□ フィニッシャー／サドルステッチフィニッシャー

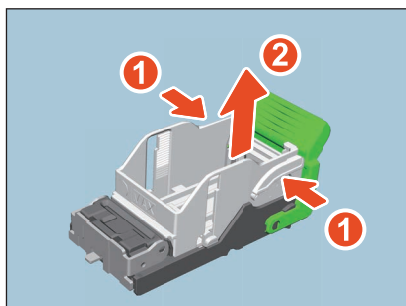
1 フィニッシャーの前面カバーを開けます。



2 ステイプルカートリッジを取り外します。

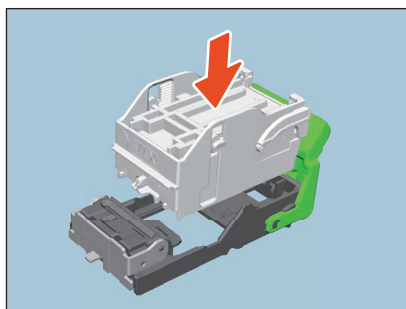


3 カートリッジから、空の針ケースを取り外します。
空の針ケースを、図のように両側から押しながら上へ引き上げます。



4 ステップカートリッジに、新しい針ケースを取り付けます。

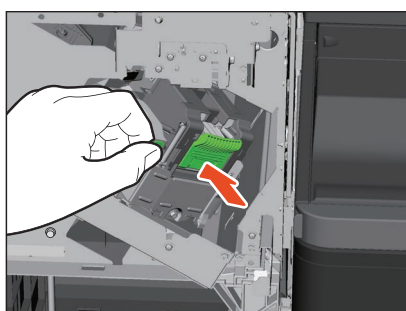
針ケースのフックをステップカートリッジの受け部に合わせ、カチッと音がするまで押し込んでください。



5 ステップカートリッジをステイプラーに取り付けます。

カートリッジを取り付けるときは、ブラケットの緑色のラベル部分を片手でしっかりつかんでブラケットを固定してください。

ステップカートリッジにツメが掛かり、カチッと音がして固定されるまで入れてください。



6 フィニッシャーの前面カバーを閉めます。

補足

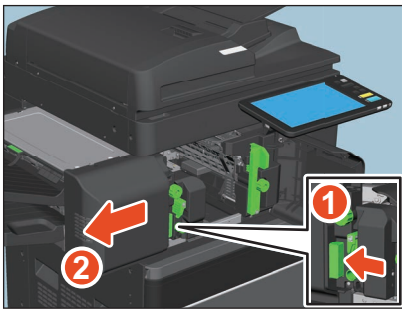
「ステイプラーの針を補給してください」というメッセージが消えない場合は、再度、手順1～6の操作を行ってください。

□ インナーフィニッシャー

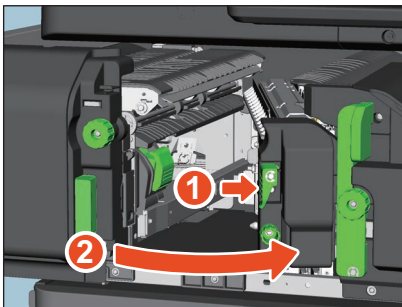
1 操作パネルを上げ、フィニッシャーの前面カバーを開けます。



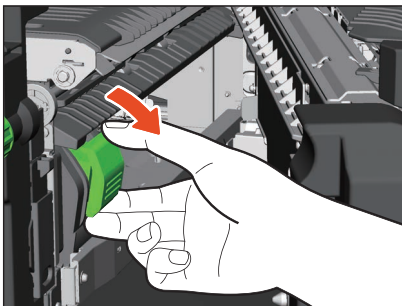
- 2 緑色のレバーを押しながら、フィニッシャーを左に止まるまで動かします。



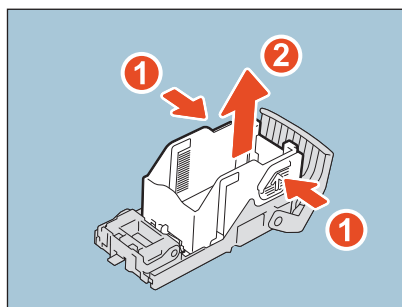
- 3 緑色のレバーを押しながら、ホールパンチユニットを開けます。



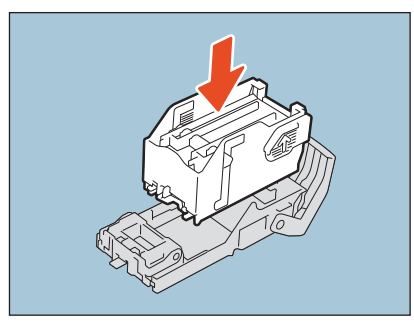
- 4 ステイプルカートリッジを取り外します。



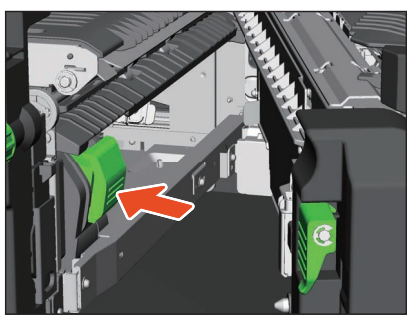
- 5 カートリッジから、空の針ケースを取り外します。
空の針ケースを、図のように両側から押しながら上へ引き上げます。



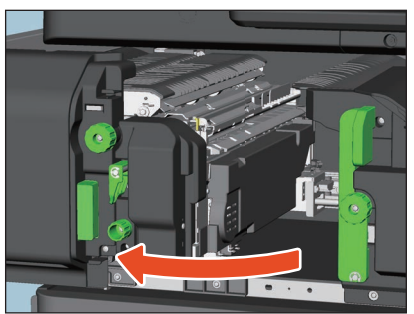
- 6** ステップルカートリッジに、新しい針ケースを取り付けます。
 針ケースのフックをステップルカートリッジの受け部に合わせ、カチッと音がするまで押し込んでください。



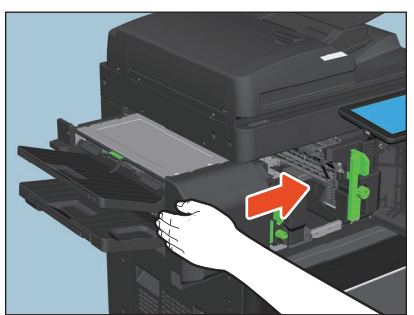
- 7** ステップルカートリッジをステイプラーに取り付けます。
 ステップルカートリッジにツメが掛かり、カチッと音がして固定されるまで入れてください。



- 8** ホールパンチユニットを元に戻します。



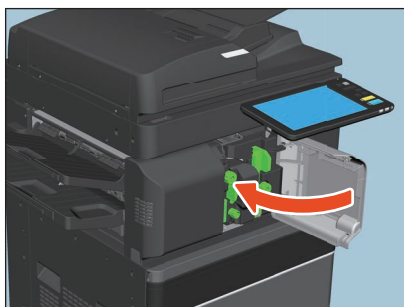
- 9** フィニッシャーを静かに元に戻します。



⚠ 注意

フィニッシャー上面に手を置いたまま閉めないこと
 指を挟んでけがをすることがあります。

10 フィニッシャーの前面カバーを閉めます。

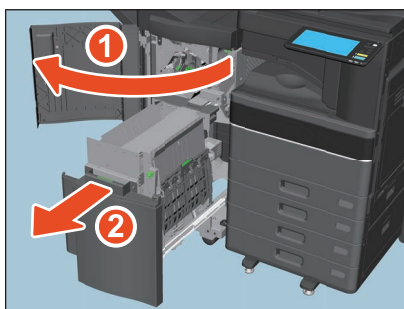


■ サドルステッチユニットのステイプラー

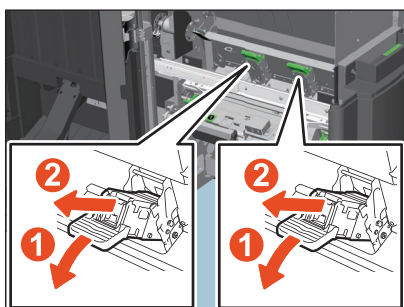
注意

ステイプルカートリッジを取り外したまま、サドルステッチフィニッシャーを使用しないでください。

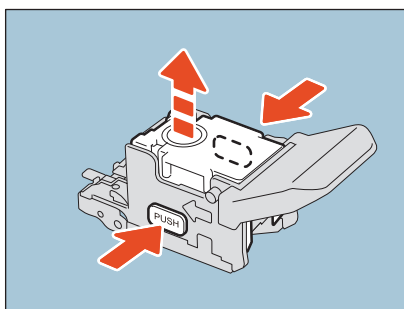
1 フィニッシャーの前面カバーを開け、サドルステッチユニットを止まるまで引き出します。



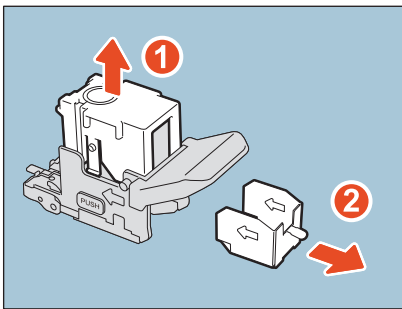
2 ステイプルカートリッジを取り外します。 カートリッジは2つとも同時に交換してください。



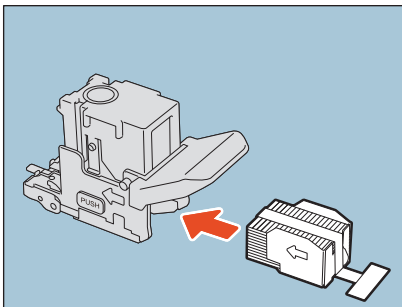
3 カートリッジの両側のボタンを押します。 カートリッジのクリアケースが上に引き上げられます。



4 クリアケースを引き上げてから、空の針ケースを取り出します。



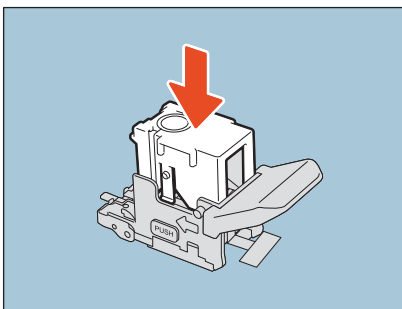
5 ステップカートリッジに、新しい針ケースを取り付けます。
カチッと音がするまで押し込んでください。



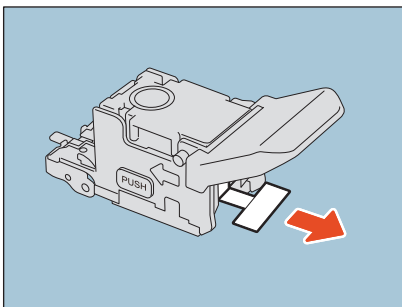
注意

針を留めているシールはまだはがさないでください。

6 カートリッジのクリアケースを押し下げます。
カチッと音がするまで押し下げてください。

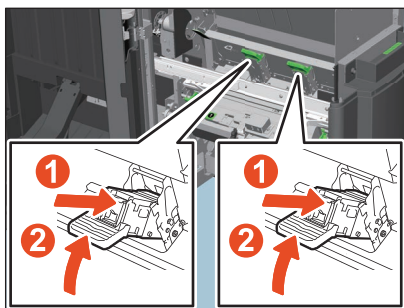


7 針を留めているシールをまっすぐ引き抜きます。

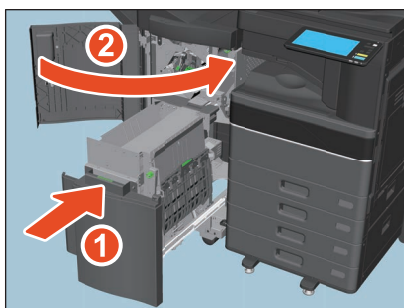


8 ステイプルカートリッジを取り付けます。

ステイプルカートリッジにツメが掛かり、カチッと音がして固定されるまで入れてください。



9 サドルステッチユニットを元に戻し、フィニッシャーの前面カバーを閉めます。

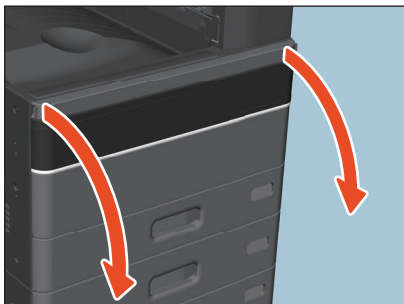


機器内部のクリーニング

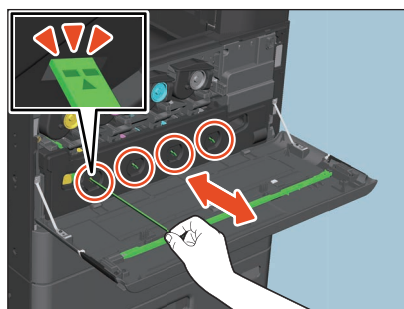
機体内部のクリーニングが必要な時期が来ると、「クリーニングの時期です。前面カバーを開けて、ガイダンスに従い操作してください。」とメッセージが表示されます。この場合は、画面に表示されるガイダンスに従って、機器内部をクリーニングしてください。（お使いの機種によっては、メッセージは表示されません。）また、メッセージが表示されていないくても、画像の横方向にムラが出たり、横方向に白スジや色スジが出たりしたときにも、クリーニングを行ってください。

■ 帯電チャージャーとLEDプリントヘッド (e-STUDIO2020AC)

- 1 本体の前面カバーを開けます。



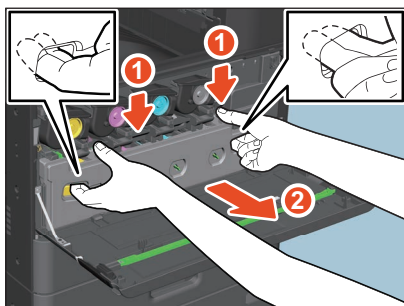
- 2 緑色のクリーニング棒を印の位置まで引いてから戻します。これを3回ずつ、4か所とも行います。



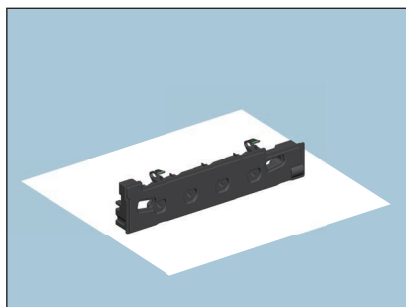
注意

クリーニング棒は抜けない構造になっています。無理に引き抜こうとすると、故障の原因となります。帯電チャージャーのクリーニングだけが必要なときは、手順3~12は不要です。手順13に進んでください。

- 3 廃トナーボックス前面のくぼみに指を掛けて、上部のツメを押し下げたまま、手前にまっすぐ取り外します。



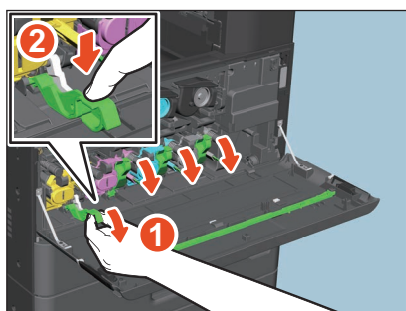
- 4 床面を汚さないように、大きめの紙の上に廃トナーボックスを置きます。



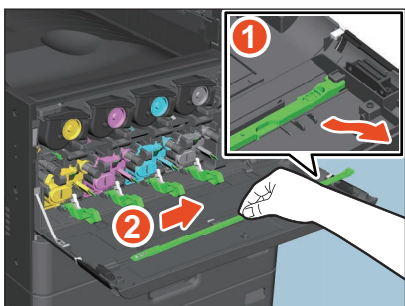
注意

廃トナーボックスを、廃トナー回収口のある面を下に向けないこと
廃トナー回収口から使用済みのトナーがこぼれる恐れがあります。

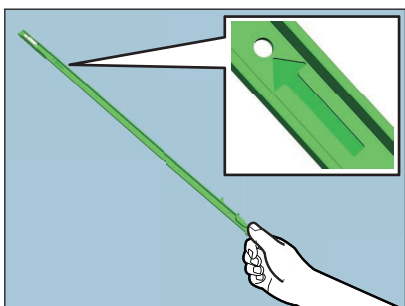
- 5 トナーカートリッジの下にある緑色のレバーを手前に倒し、4か所とも②の状態になるまで押し下げてください。



- 6 カバー内側にある、緑色のクリーニング棒を取り出します。



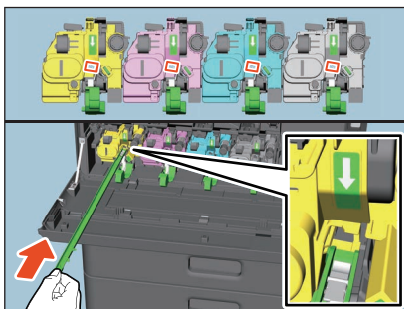
- 7 クリーニング棒の矢印が上に来るように持ちます。



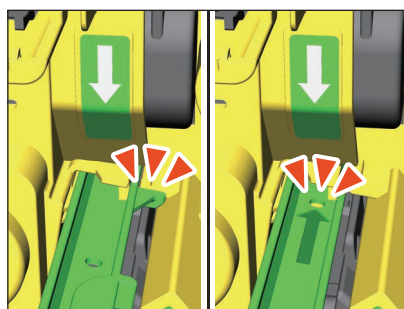
注意

クリーニング棒の先端にあるパッドに触らないでください。パッドに付着したトナーで手などが汚れたり、パッドに手の汚れが付いたりすることがあります。

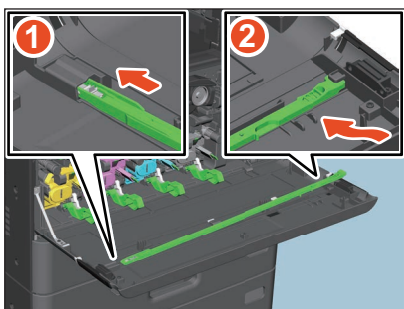
8 矢印の下の窓から、クリーニング棒を突き当たるまで差し込みます。



9 クリーニング棒を、丸い穴が見えるまで引き出します。これを3回ずつ、4か所とも行います。



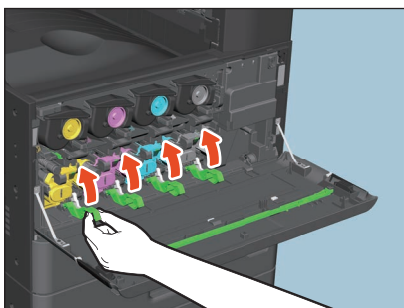
10 クリーニング棒を、先端が左側に、持ち手が右側になるように取り付けます。



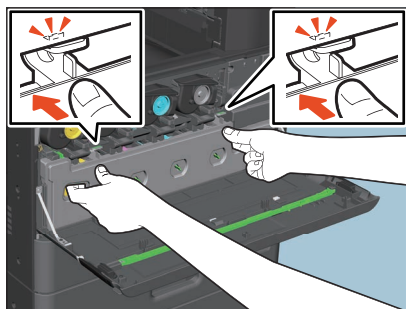
注意

クリーニング棒がカバーに固定されたことを確認してください。

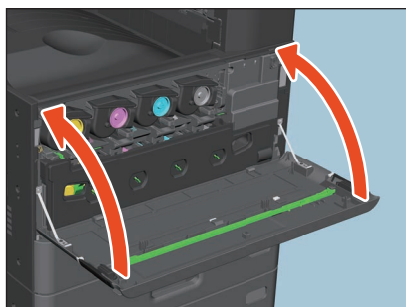
11 トナーカートリッジの下にある緑色のレバーを、4か所とも上げます。



12 廃トナーボックスを、上部のツメがカチッと音がするまで確実に押し込みます。傾けないように注意してください。



13 前面カバーの両端を押して閉めます。



14 [作業完了] を押します。



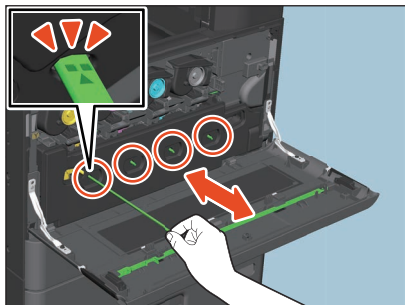
■ 帯電チャージャーとスリットガラス (e-STUDIO2525AC/3525AC/4525AC/5525AC およびe-STUDIO5528A)

1 本体の前面カバーを開けます。

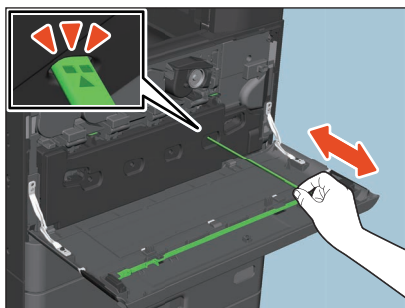


- 2 緑色のクリーニング棒を印の位置まで引いてから戻します。モノクロ機は、これを3回行います。カラー機は、これを3回ずつ、各ユニットとも行います。

カラー機の場合



モノクロ機の場合

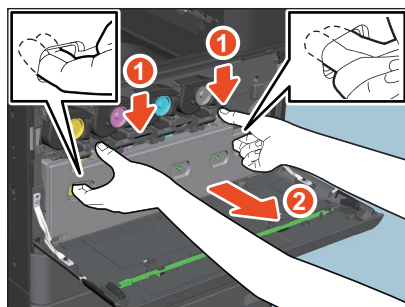


注意

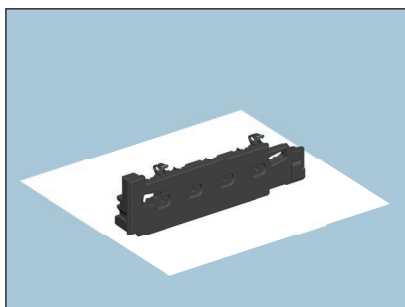
クリーニング棒は抜けない構造になっています。無理に引き抜こうとすると、故障の原因となります。

帯電チャージャーのクリーニングだけが必要なときは、手順3～10は不要です。手順11に進んでください。

- 3 廃トナーボックス前面のくぼみに指を掛けて、上部のツメを押し下げたまま、手前にまっすぐ取り外します。



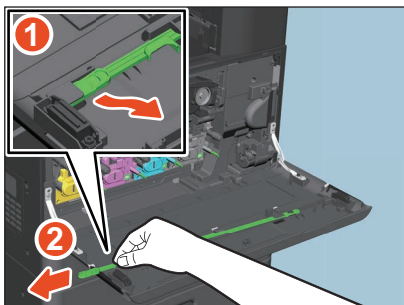
- 4 床面を汚さないように、大きめの紙の上に廃トナーボックスを置きます。



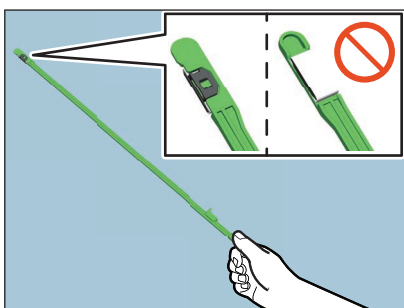
注意

廃トナーボックスを、廃トナー回収口のある面を下に向けないこと
廃トナー回収口から使用済みのトナーがこぼれる恐れがあります。

5 カバー内側にある緑色のクリーニング棒を取り出します。



6 クリーニング棒先端の黒色部が上に来るように持ちます。

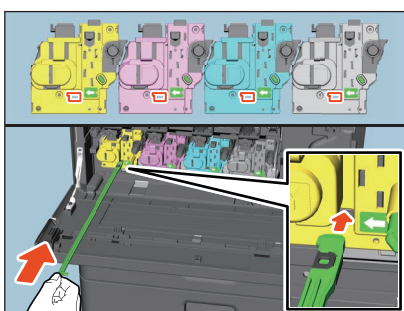


注意

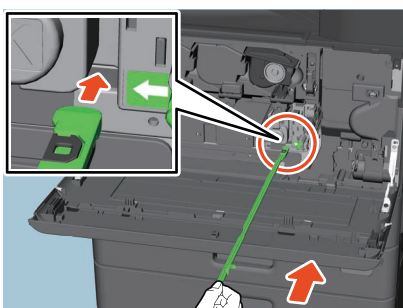
クリーニング棒の先端にあるパッドに触らないでください。パッドに付着したトナーで手などが汚れたり、パッドに手の汚れが付いたりすることがあります。

7 各現像ユニットのクリーニング窓にクリーニング棒を差し込みます。

カラー機の場合

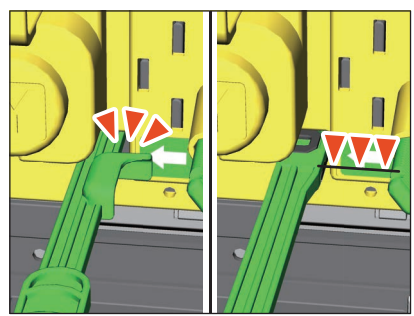


モノクロ機の場合

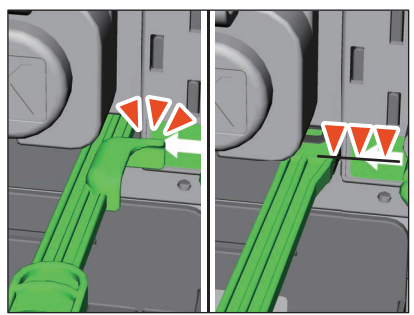


8 クリーニング棒を突き当たるまで差し込み、引き抜きます。モノクロ機は、3回抜き差しします。カラー機は、各色とも3回ずつ抜き差しします。

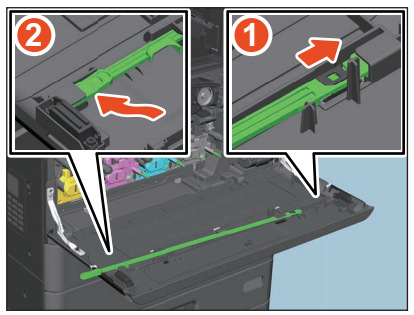
カラー機の場合



モノクロ機の場合



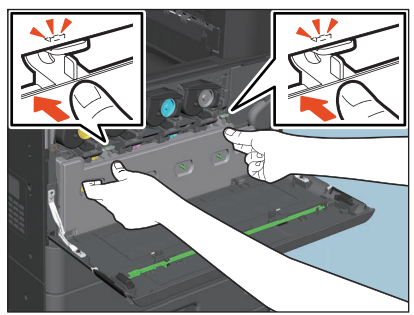
9 クリーニング棒を、先端が右側に、持ち手が左側になるように取り付けます。



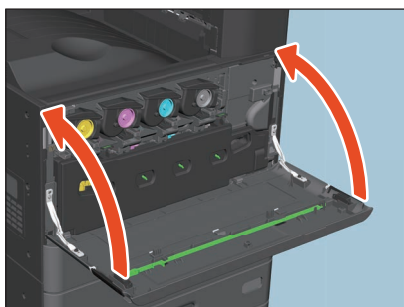
注意

クリーニング棒がカバーに固定されたことを確認してください。

10 廃トナーボックスを、上部のツメがカチッと音がするまで確実に押し込みます。傾けないように注意してください。



11 前面カバーの両端を押して閉めます。

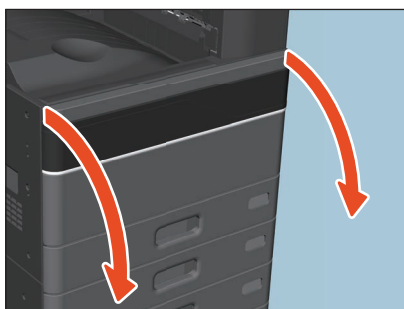


12 [作業完了] を押します。

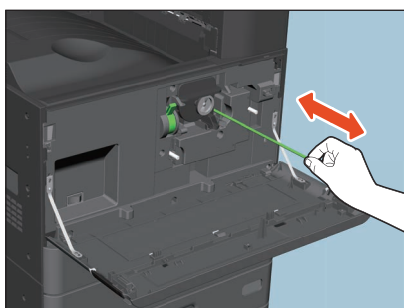


■ 帯電チャージャー (e-STUDIO2528A/3528A/4528A)

1 本体の前面カバーを開けます。



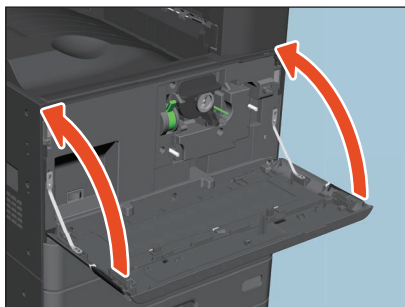
2 クリーニング棒を、止まるまでゆっくり引き出してから、元の位置までまっすぐゆっくりと押し込みます。この動作を2、3回繰り返します。



注意

クリーニング終了後、クリーニング棒のつまみが奥まで押し込まれていることを確認してください。

3 前面カバーの両端を押して閉めます。

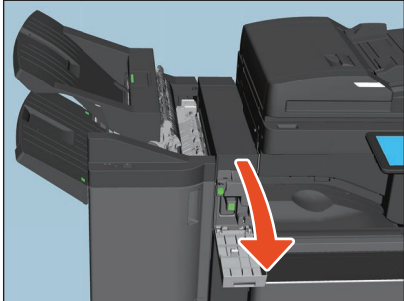


パンチ屑ケースの清掃

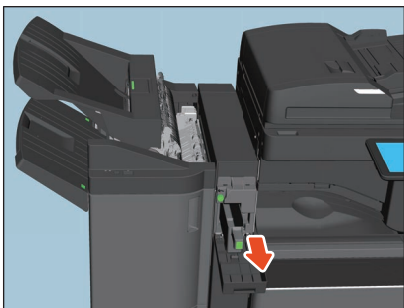
ホールパンチユニットのパンチ屑がいっぱいになったときは、以下の手順に従ってパンチ屑を捨ててください。

■ フィニッシャー／サドルステッチフィニッシャーのホールパンチユニット

- 1 ホールパンチユニットのカバーを開けます。



- 2 パンチ屑ケースを引き出します。



- 3 パンチ屑を捨てます。

- 4 パンチ屑ケースを取り付けます。

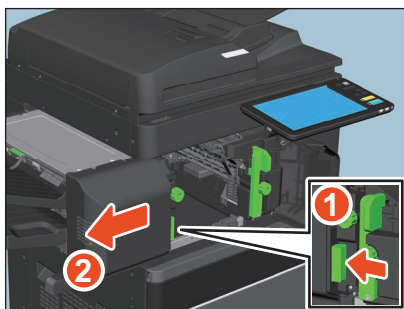
- 5 ホールパンチユニットのカバーを閉めます。

■ インナーフィニッシャーのホールパンチユニット

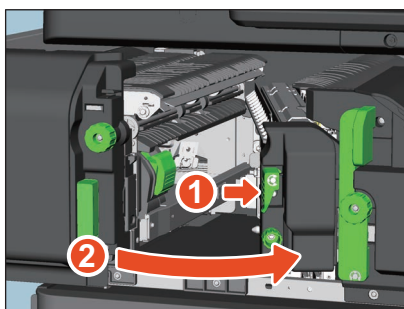
- 1 操作パネルを上げ、フィニッシャーの前面カバーを開けます。



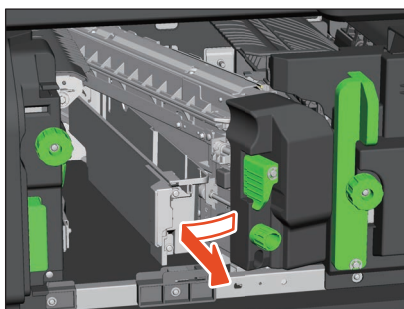
2 緑色のレバーを押しながら、フィニッシャーを左に止まるまで動かします。



3 緑色のレバーを押しながら、ホールパンチユニットを開けます。

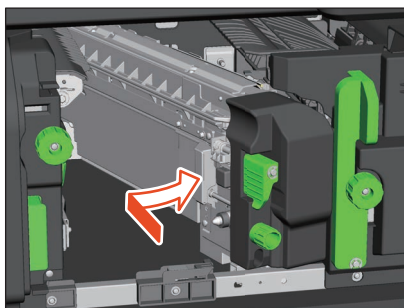


4 パンチ屑ケースを左側に寄せてから、手前に引き出します。

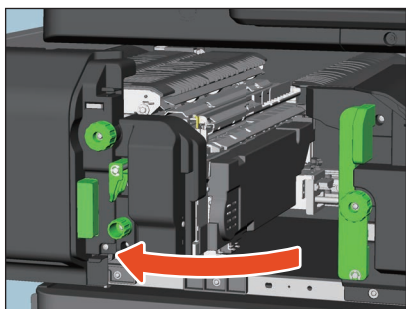


5 パンチ屑を捨てます。

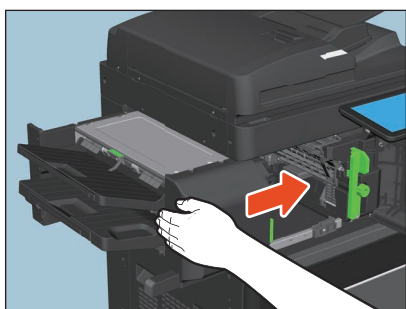
6 パンチ屑ケースを取り付けます。



7 ホールパンチユニットを元に戻します。



8 フィニッシャーを静かに元に戻します。



⚠ 注意

フィニッシャー上面に手を置いたまま閉めないこと
指を挟んでけがをすることがあります。

9 フィニッシャーの前面カバーを閉めます。

本体排紙トレイから用紙があふれるときは

腰の弱い、小さいサイズの内紙（A4-R以下）を使用した場合、まれに本体排紙トレイの壁面に用紙の後端が引っかかることがあります。この状態で300枚を超えるような大量の印刷を行うと、排紙トレイから用紙が押し出されることがあります。

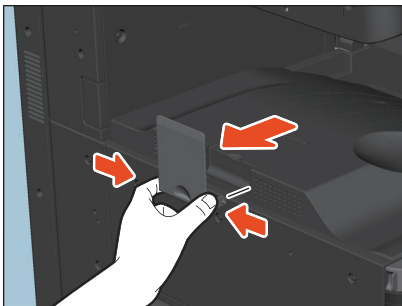
上記のような場合には、排紙ストッパーを排紙トレイの所定位置に取り付けることにより、普通紙の場合で約500枚の内紙を排紙できるようになります。

注意

- A3やA4など大きいサイズの内紙に大量の印刷を行う場合は、排紙ストッパーを元の位置に戻してください。
- 本機にフィニッシャーを装着している場合は、排紙ストッパーを元の位置に取り付けたままでお使いください。
- インナートレイを装着している場合は、排紙ストッパーを排紙トレイの所定位置に装着してください。
- 本機にフィニッシャーを装着している場合で、A3などの大きいサイズの内紙に大量に印刷して本体排紙トレイに排紙するときは、排紙を分割して取り出してください。

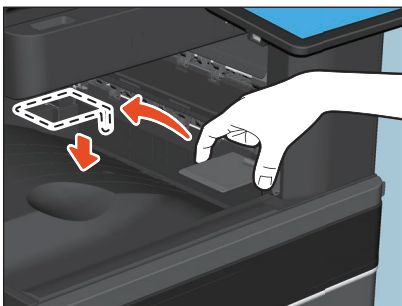
元の位置にある排紙ストッパーを取り外す

- 1 排紙トレイの左端にある排紙ストッパーを開き、支点部を内側に押しながら、溝から取り外します。



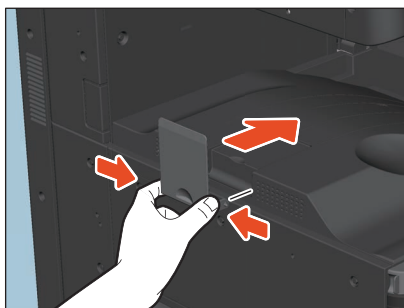
排紙ストッパーを排紙改善の所定位置に取り付ける

- 1 排紙ストッパーの先端を左側に向け、排紙トレイ上の溝に排紙ストッパーの支点部を挿入します。



排紙ストッパーを元の位置に戻す

- 1 排紙ストッパーの支点部を内側に押しながら、排紙トレイ上の溝から取り外します。
- 2 排紙トレイの左端の溝に、排紙ストッパーを装着します。



用紙が丸まってしまうときは

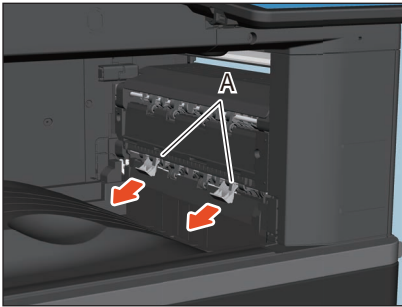
e-STUDIO2525AC/3525ACをお使いの場合、腰の弱い、小さいサイズ用紙（A4-R以下）を使用して大量の印刷を行うと、排紙トレイ上で用紙が丸まってしまうことがあります。このような場合には、本体排紙部の部品（図中A）を取り外してください。

注意

A3やA4など大きいサイズの用紙に大量の印刷を行う場合は、部品（図中A）を元の位置に戻してください。

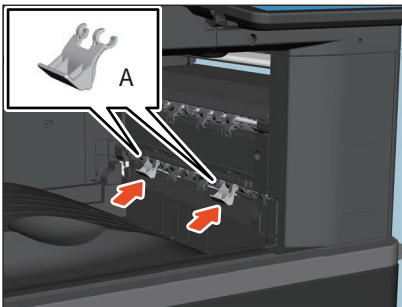
部品（図中A）を取り外す

- 1 本体の電源を切ります。
- 2 排紙部に付いている部品（図中A）を取り外します。
 取り外した部品は、保管しておいてください。



部品（図中A）を元の位置に戻す

- 1 本体の電源を切ります。
- 2 部品（図中A）を図の向きで排紙部に装着します。



日常のお手入れ

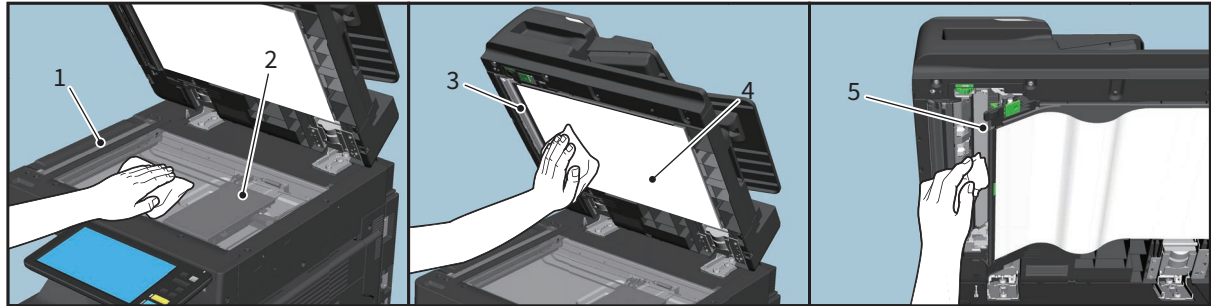
日常のお手入れ.....	106
保守サービスについて	107

日常のお手入れ

常にゴミや汚れのない状態で原稿を読み取るために、1週間に1回程度、以下の部分をクリーニングするようお勧めします。

注意

- クリーニングする場所を傷つけないようご注意ください。
- 機械を拭くときは、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤を使わないでください。変形や変色の原因となります。
- 化学ぞうきんを使う場合は、その注意書きに従ってください。



1. 原稿読み取り部（細長いガラスの表面）／2. 原稿ガラス

乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れが落ちない場合は、水でぬらして固く絞った柔らかい布で拭いてください。水以外のもの（アルコール、有機溶剤、中性洗剤）は使用しないでください。

3. ガイド部／4. 原稿押さえ

汚れの程度により、以下の方法でクリーニングしてください。

- 乾いた柔らかい布で拭く。
- 水でぬらして固く絞った柔らかい布で拭く。
- アルコールを含ませて固く絞った柔らかい布で拭いた後、から拭きする。
- 薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った柔らかい布で拭いた後、水拭きしてから、から拭きする。

5. 両面同時原稿送り装置の原稿読み取り部（細長いガラスの表面）

乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れが落ちない場合は、水でぬらして固く絞った柔らかい布で拭いてください。水以外のもの（有機溶剤、アルコール、中性洗剤）は使用しないでください。

前面カバーのクリーニング

前面カバーが汚れた場合は、柔らかい布で汚れを軽く拭き取ってください。

注意

- クリーニングする場所を傷つけないようご注意ください。
- 硬い布、汚れた布、ティッシュペーパーは使用しないでください。

保守サービスについて

本機を安定した状態でご使用いただくための点検・保守・修理サービスの連絡先、およびサービスを依頼される場合にお客様よりお知らせいただく事柄について、以下に記載します。

次のような場合は、下記へご連絡ください。

- サービスエンジニアによる点検・保守・修理に関するお問い合わせ・ご依頼をされる場合
- 取扱説明書に記載が見当たらない事柄についてのお問い合わせ

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に、以下の参照先をご覧ください。簡単な対処で問題が解決されることがあります。

よくあるご質問 - 機体についてのご質問 - 機体についてのご質問

対処を行っても問題が解消されない場合は直ちに使用を中止して、必ず電源プラグを抜き、サポートコールセンター（**かんたん操作ガイド**の裏表紙に記載）までご連絡ください。その際、次の内容をお知らせください。

商品名	e-STUDIO2020AC/2525AC/3525AC/4525AC/5525AC/2528A/3528A/4528A/5528A
お客様のご連絡先	お名前、おところ、お電話番号、事業所名、部署名
ご依頼事項	<ul style="list-style-type: none">• お困りの内容• 問題が生じる前に行っていた操作内容や状況• エラーメッセージやエラーコード（表示された場合はお知らせください） これらについて、あらかじめメモを取っておかれると後で役に立ちます。

補修用部品について

補修用部品の供給年限は、製造中止後7年間です。

お問い合わせ先

かんたん操作ガイドの裏表紙に記載しています。

個人情報の取り扱いについて

- お客様にご提供いただいた住所などの情報は、サービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます場合がございますので、ご了承ください。
- 修理のために、弊社から修理委託している保守会社などに必要な情報を委託する場合がございますが、個人情報保護法および弊社と同様の個人情報保護プログラムが遵守されるよう、適切な措置を取ります。

索引

か		
紙づまり		
紙を取り除くときのご注意	15	
場所を画面で確認する	14	
ひんぱんに起こるときは	16	
用紙サイズの設定間違いによる	57	
紙づまりの解除		
インナートレイ	36	
インナーフィニッシャーと		
ホールパンチユニット	54	
カセット (e-STUDIO2020AC)	27	
カセット (e-STUDIO2020AC以外)	28	
カセット給紙部	24	
サドルステッチフィニッシャーと		
ホールパンチユニット	43	
サドルステッチフィニッシャーの		
サドルステッチユニット	47	
自動両面原稿送り装置下部	17	
自動両面原稿送り装置上部	17	
自動両面ユニット	31	
外付け大容量給紙装置 (2000枚)	22	
大容量カセット	29	
大容量給紙装置	25	
多段給紙装置	26	
中継ユニット	37	
定着器	33	
手差しトレイ (e-STUDIO2020AC)	30	
手差しトレイ (e-STUDIO2020AC以外)	31	
フィニッシャーとホールパンチユニット	37	
封筒カセット	29	
用紙搬送路	32	
両面同時原稿送り装置下部	19	
両面同時原稿送り装置上部	20	
く		
クリーニング		
帯電チャージャー	96	
帯電チャージャーとLEDプリントヘッド	89	
帯電チャージャーとスリットガラス	92	
ホールパンチユニットのパンチ屑ケース	98	
さ		
サポートコールセンター	107	
し		
自動原稿送り装置	17	
す		
ステイプル針の補充		
インナーフィニッシャー	83	
サドルステッチユニット	86	
フィニッシャー／サドルステッチフィニッシャー	82	
た		
帯電チャージャーとLEDプリントヘッドの		
クリーニング	89	
帯電チャージャーとスリットガラスのクリーニング	92	
帯電チャージャーのクリーニング	96	
と		
トナーカートリッジの交換	71	
カラー機	71	
モノクロ機	74	
に		
日常のお手入れ	106	
は		
廃トナーボックスの交換	79	
針づまりの解除		
インナーフィニッシャー	66	
サドルステッチユニット	69	
フィニッシャー／サドルステッチフィニッシャー	64	
パンチ屑ケースの清掃	98	
ほ		
保守サービス	107	

東芝デジタル複合機

困ったときは

e-STUDIO2020AC

e-STUDIO2525AC/3525AC/4525AC/5525AC

e-STUDIO2528A/3528A/4528A/5528A

東芝テック株式会社

